

近畿地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部 教授）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、中村文昭（公益財団法人エイズ予防財団）有田匡、鍵田いづみ、赤田知華子、大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH大阪）、山田創平（京都精華大学）、日高庸晴（宝塚大学）、岳中美江（特定非営利活動法人CHARM）、川畑拓也（大阪府立公衆衛生研究所）、塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

平成23年度、MASH大阪は以下のような研究事業を実施した。

1. 一次予防関連プログラム

1) コミュニティレベル

①月刊のコミュニティペーパー＜SaL+＞の発行を継続して行った。2012（平成24）年4月～2012（平成24）年11月の期間に、月平均で、183店舗および41団体に21名のボランティアが約6,300部を配布した。内容に関しては、昨年度に引き続きエイズ予防/セクシュアルヘルス関連情報を前面に押し出した。②季刊のコミュニティペーパー＜南界堂通信＞を2012（平成24）年11月に創刊した。SaL+とは異なる中高年層を対象として、彼らのセクシュアルヘルス、ライフスタイル、教養を三つの柱として制作した。199店舗および41団体・個人に23名のボランティアが1,628部配布した。

2) グループ・個人レベル

①コミュニティスペース＜dista＞関連事業を執行した。来場者数は、2012（平成24）年12月の時点で5,740名で、月平均637.8名が来場した。そのうち初来場者は月平均59.1名で期間全体としては532名であった。昨年比で来場者数は微増傾向にあり、初来場者数は、昨年と同水準であった。相談件数は381件であった。今年度は、相談・支援体制の強化と今後の体制構築を目的として、「対人支援会議」を月に1度設けた。②STI勉強会＜SEX & LIFE 勉強会＞を、毎月語り合うテーマを変え、工夫を凝らして開催した。月2名～4名の参加者があり、全て新規の参加者であった。③若年層ネットワーク構築支援プログラム＜step＞を4月、5月、7月に開催して総計80名が参加、うち25名がプログラム初参加の若者であった。

2. 二次予防関連プログラム

1) 「エイズ予防のための戦略研究」により平成19～22年度に実施されたSTIクリニックでの受検を促進するプログラムを3ヶ月に期間を区切って2回実施した。本年度は広報戦略の一環として、ハッテン場ロッカーにおける広報資材提示を新機軸として導入した。1回目の受検者は235名、HIV陽性率は2.6%であった。

2) 自治体や検査の現場で働く保健師やNGOワーカー等、セクターを越えたネットワークを創出し、検査環境の質の向上を目的とした、プロフェッショナル・ミーティング（PM）を今年度新たに執行した。平成24年7月と2月の計2回実施し、7月で21名、2月で20名の参加があった。

3. 上記介入プログラムの効果評価ツールとして、インターネット横断調査および追跡パネル調査および保健所・STI クリニックでの受検者アンケート調査を実施した。

A. 研究目的

本研究の目的は、2012（平成24）年度に執行された研究事業を記述・分析し、効果評価と照合することで、個別施策層向け予防介入事業のモデル構築を試みるところにある。

B. 研究対象と方法

本研究の対象は2012（平成24）年度にMASH大阪によって執行された予防介入プログラムであり、後述する効果評価の結果と比較検討したうえで考察を加える。考察にあたっては、疫学とその周辺領域のみならず、テキスト分析、ソーシャルマーケティング理論、社会学といった広い領域からの言及を行うこととする。

C. 研究結果

各プログラムの執行状況について順次報告する。

1. 一次予防関連プログラム

1) コミュニティペーパー<SaL+>の配布 （これまでの流れ）

2000（平成12）～2002（平成14）年度に開催された臨時検査イベントSWITCHを通して得られた情報をコミュニティに還元するためのツールとして構想された<SaL+>は、2003（平成15）年度に入りコミュニティペーパー的性格を強めながらコミュニティに浸透してきた。2004（平成16）年度に実施したフォローアップ調査の結果、関連知識、受検行動、予防行動のいずれにおいても、受取り群には非受取り群と比較して有意な効果がもたらされた事が示唆された。2009（平成21）年度からは、コミュニティ関連情報よりも、セクシュアルヘルス関連情報を前面に打ち出す方向転換を行った。具体的には下記の2点である：

- 1) 特集記事において、エンタテイメント性を

保ちつつエイズ予防/セクシュアルヘルス関連のテーマを取り上げる

- 2) 医師やMSWまたは検査技師等、専門職者のインタビュー記事を掲載する

（目的）

- 1) MASH大阪が把握している情報をコミュニティに還元する
2) 配布活動を通じて、コミュニティとのネットワークを構築する
3) 地域に密着した情報を発信し共有化をはかることで、コミュニティへの帰属意識を涵養する

（方法）

今年度も昨年同様の編集方針で進め、発行部数もほぼ同程度で行なった。

（成果）

今年度の配布実績（2012年11月末時点）は、毎月平均で183店舗と41団体に21名のボランティアスタッフが6,302部を配布した。年間を通して、発行部数のほとんどは、ゲイタウンや地域団体への配布であった（付表1）。

2009年に実施した調査研究の結果、1号から95号まで一貫してみられる特徴として、1)多声的な言説空間の構築が目指されている、2)セクシュアル・マイノリティであることを問題視しない、3)セックスを肯定的に捉える、4)HIV陽性であることを特別視しない、5)文体は「笑い」を基本とする、が明らかとなった。変遷をたどる読みから見えてきた特徴としては、第1期（1号～12号）では記者・編集者の声を中心であるのに対し、第2期（13号～76号）では記者・コミュニティメンバー・専門職者の声が交じり合う傾向が強くなり、第3期（77号～95号）では

これに加え科学的・制度的言説（シグナル）と個人の観測・感情・破綻（ノイズ）が混在していることがあげられた。本年度は第3期の方針が踏襲されている。

2) コミュニティペーパー＜南界堂通信＞の配布

（目的）

HIV 抗体検査受検のニーズ、早期治療のニーズが極めて高い大阪地域の 40 歳以上の中高年 MSM (Men who have sex with men) に向けて必要な情報を提供し、予防行動、受検行動を促す。

（方法）

資材を定期的に発行し（当面は季刊）、継続的にターゲット層をエイズ関連情報に晒すようにする。ここでいう中高年層とは 40 歳以上を指すが、特に 40 歳代、50 歳代 MSM をメインのターゲットとする。

これまでの調査や活動実績から、中高年 MSM にはエイズの知識のみを前面に押し出す資材は手に取ってもらえないことが分かっており、予防啓発関連情報だけでなく、MSM 関連の教養、セクシュアルヘルス、ライフスタイルに目配りした情報を提供することで、この先も健やかで充実した人生を送れるようなライフプランを提供しつつ、予防行動、受検行動の促進につなげることが必要である。

（成果）

今年度は、大阪市のMSM向けHIV予防啓発普及啓発事業及び大阪府地域医療再生基金事業として実施した。創刊号は2,000部発行した。利用者から「字が大きくて読みやすい」「中高年向け資材の発行を待っていた」などの声が寄せられた。続く第2号は2013年3月に4,000部発行する予定である。また、本資材をきっかけに、これまでMASH大阪とは取引のなかった中高年層向けのゲイ商業施設21軒から、資材設置の協

力を新たに得る事が出来た。配布実績については(付表2)を参照。

3) コミュニティスペース＜dista＞

（目的）

近畿地域のゲイ男性が利用する商業施設が多い地域に啓発普及の活動拠点を整備・運営し、HIV/STI感染予防に向けた啓発プログラムを戦略的に展開することを事業の目的とする。コミュニティセンターとしてのdistaの機能は以下のとおり。

①予防啓発事業の拠点機能として

- ・啓発活動およびアウトリーチの基地（啓発の実施・普及機能）
- ・予防啓発に関わるスキル研修会・講習会会場（人材育成機能）
- ・セーファーセックス勉強会やワークショップ会場（啓発普及機能）

②情報センター機能として

- ・コミュニティの人がふらっと自由に立ち寄れて、セクシュアルヘルスに必要な情報やコミュニティの情報を持ち帰ることができる（情報の還元・普及機能）
- ・相談場所・窓口（相談機能）

③コミュニティセンター機能として

- ・コミュニティ交流プログラム会場（地域交流機能）
- ・コミュニティからのリアクションをフィードバックさせる（情報収集機能）
- ・リピーターを獲得し、その人達と相互に確実な情報伝達をくりかえすことによって、コミュニティ内のキーパーソンの育成をはかる。

（対象クライアント）

対象クライアントとして以下を想定した。

- ①ゲイ関連商業施設従業員
- ②ゲイ関連商業施設利用者

- ③インターネット利用者
- ④エイズ対策関連団体／個人

(成果目標)

成果目標として以下を目指した：

- ①当事者性を重視した予防啓発活動をコミュニティの中心エリアで実施し、コミュニティメンバーや関係機関との連携・協働により、セクシュアルヘルスの増進、セーフターセックスへの環境づくりを目指す。
- ②distaを核としたコミュニティ・ネットワークを構築し、そのネットワークを通じてHIV/STIの予防や共生のメッセージと正しい情報が伝わってゆくことを目指す。
- ③情報と空間・時間を共有し、HIVを身近に感じる人が増えていくことで、HIV/AIDSの予防と共生の意識がコミュニティ全体に広がり、行動変容を促すことを目指す。

(運営体制)

2012年度は昨年に引き続き、基本オープン時間を水曜日～月曜日の17時～23時とし、火曜日を休館日とした。土曜日には不定期でイベントを開催し、その際はオープン時間を17時～5時とした。17時～20時をAシフト、2時～23時をBシフト、及びイベント開催時の土曜日の23時～5時をCシフトとして、運営スタッフとコンシェルジュ（ボランティア・スタッフ）がシフトを組んでdistaの運営業務に当たった。コンシェルジュは現在4名（2012年11月時点）で稼働している。

(成果)

今年度の施設オープン時間は、月平均183.7時間であった。来場者数は月平均637.8名であり、前年度より微増した。そのうち初来場者は月平均59.1名であり、昨年とほぼ同じ割合であった。初来場者数は全体の9.3%であった。dista利用状況及び利用者数年度別推移については(付表3)(付表4)、利用者年

代別状況は(付表5)に示した。

今年度に開催したカフェイベントと教室。講座の実施内容および展覧会内容については(付表6)(付表7)に示した。

相談件数は12月末時点で、月平均42.3件であった。その推移と相談内容は(付表8)及び(付表9)に示した。

また相談・支援体制の強化と今後の体制構築を目的として「対人支援会議」を企画し、月に1度開催した(付表10)。

また、ふらっと来た来場者のうち特に初来場者については、コンシェルジュが積極的にコミュニケーションをとる方針を徹底させたことにより、distaの説明や予防、検査情報を確実に提供できた。

今後の課題として、相談員の育成と、幅広い年齢層に届く広報や企画を推進し、新規利用者の獲得と、相談と予防情報の提供を確実に行える予防・支援拠点としての充実を目指す。

4) STI勉強会＜SEX & LIFE 勉強会(2012年4月から開始)＞

(目的)

SEX & LIFE勉強会は、「SEXとHIV/STI」を中心としたテーマを設定し、一義的な展開や啓発色の強いメッセージを発信するのではなく、自らの言葉で意見、情報を交換し、多様な性や生活のあり方を認め合い、その雰囲気を共有するものである。自分達にとってのSEXを考え、語るることにより、SEXに対する興味や意識を喚起し、SEXと密接な関係にある性感染症に対する認識を促すことを目的とする。

また、SEXの話題の中にセーフターセックスに関する情報を盛り込み、STIやセーフターセックスに対する知識向上と共に予防と共生の意識を浸透させることを目指すプログラムである。

(方法)

実施手法として以下の点を挙げる：

- 1) ファシリテーターを設け、対話形式での展開を行う
- 2) 対話の場を問題なく円滑に進行させるため、グラドルールを設ける
- 3) 参加者が意見を発し、取り組みやすいような場所や雰囲気を設定する。

今年度は、毎月第2金曜日(18時～20時)に実施。対話や相談等の場となることに留意した。

広報として、SaL+やdista.b、mixiやtwitter等での広報を用いた。

(成果)

エロネタや恋愛ネタなどの身近なテーマ設定により、積極的な参加と発言を促すことができた。また、セックスや恋愛に関する経験話を共有することで、実生活に役立つ情報を共有し、実践に役立ててみるという声が聞かれるなど、情報を持ち帰ってもらうことの有意性が感じられた。自身の経験をポジティブに語る機会は自身だけでなく、他の参加者の経験に対してもポジティブに捉えることができ、安心して発言ができる雰囲気を作り出すことができた。その結果、性感染予防やセクシュアルアイデンティティの形成について対話することの重要性を実感し、それを共有する機会を作り出すことができた。また、プログラムの最後に15分程度のミニ勉強会や対話の中でセーフターセックスを意識するための仕掛けを設けることで、必要な情報を的確に伝えやすく、参加者への意識づけが可能な機会となった。今後も新規クライアントの獲得を目指す場合の広報の手法や、運営体制の見直しを行い、今までのノウハウを活かしつつ更なる充実を目指す。プログラム実施状況については(付表11)に示した。

5) 若年層ネットワーク構築支援プログラム<step>

(目的)

コミュニティにあまりアクセスしていない10代～20代の若者を対象としたプログラム

である。プログラムの目的として以下の点が考慮されている：

- 1) コミュニティや、MASH 大阪に未接触の若者に対する入り口となること
- 2) 参加者が dista へアクセスするようになること
- 3) 他のプログラムへのボランティア・リクルートになること

(方法)

事業は以下の点に留意しつつ展開した：

- 1) 啓発色を出さず、季節感やお得感、遊びに行く、楽しむ、友達作りなどの企画を実施する
- 2) コミュニティスペースdistaにアクセスするきっかけを提供する
- 3) mixi (大手のSNS=ソーシャルネットワーキングサイト) を中心とした広報宣伝を行う
- 4) プログラムに関わるスタッフの友人の中で STI についての情報に接触する機会の少ないクライアントの参加を促進させる
- 5) 企画運営実行は主にコミュニティの若者が中心に行う

(成果)

今年度は12月末までの時点で、4月、5月、7月の計3回の企画を実施した。実施内容については(付表12)に示した。参加者は合計80名、そのうち初参加者が25名、過去に参加経験のある人は55名だった。

本プログラムの目的のうち、コミュニティや MASH 大阪に未接触の若者に対する入り口となる事と、参加者が dista へアクセスするようになる事については、今年度は達成できなかった。昨年度に引き続き、コミュニティにアクセスしていない層をうまくリクルートできなかったため、今後、企画内容や参加者募集のありかたについて再検討を要する。

2. 二次予防関連プログラム

1) クリニック検査 1,000 円キャンペーン

(目的)

診療所・クリニックを活用し、MSM に対して、彼らが受検しやすい HIV/STI 検査受検機会を提供することにより、エイズを発症してから自分が HIV 感染していることに気づく人を減少させ、ひいては HIV/STI の感染拡大を抑止することに寄与することを目指す。

上記の目的は以下の 2 点に具体化される：

- ① HIV/STI 検査受検の選択肢の一つとして、診療所・クリニックを位置づけることで、診療所・クリニックにおける MSM の HIV/STI 検査受検を促進する。結果として、STI 検査の結果が陽性の場合は、そのまま治療へ入れる、その後も行きやすい、かかりつけの診療所・クリニックをつくる、などのメリットが考えられる
- ② 通常検査と迅速検査の違いやそれぞれのメリットとデメリットについての理解を促進し、違いを踏まえたうえで、自分自身で判断し決定して受検できるよう周知を図る。

(方法)

- ① 本プログラムを理解し、協力の得られる診療所・クリニックを開拓する。協力診療所・クリニックでは、次の 2 つの検査にわかれ、どちらかを利用できるようにした：
 - (1) 5 種通常検査：採血後 1 週間後以降に検査結果を告知する「HIV/STI 検査 5 種類セット（HIV、梅毒、B 型肝炎、C 型肝炎、クラミジア）」
 - (2) 4 種迅速検査：採血したその日のうちにスクリーニング検査結果を告知する（要確認検査の場合は、翌週以降に検査結果を告知する）「HIV/STI 迅速検査 4 種類セット（HIV、梅毒、B 型肝炎、C 型肝炎）」。但し要確認検査については、臨床検査会社で第四世代のスクリーニング検査法によって追加ス

クリーニング検査が行われる。

- ② フライヤー、ポスター、ホームページ、twitter、ハッテン場ロッカー、各種 SNS などを利用し、1,000 円の自己負担で HIV/STI 検査が受けられることを広報する。MASH 大阪広報資材 SaL+へのキャンペーンの告知も行う。
- ③ MSM 自らが、通常検査か迅速検査かを選択し協力診療所を訪れる。
- ④ 協力診療所で広報資材添付カードかウェブ画面を提示すると、1,000 円で受検できる。
- ⑤ 検査前後の不安へのサポート（特に迅速検査により要確認検査となる人へのサポートが重要）として、以下が相談対応にあたる：
 - (1) コミュニティスペース dista（対面・電話・メール）：火曜を除く毎日 17 時～23 時
 - (2) HIV サポートライン関西（電話）：毎週月曜・水曜日 19 時～21 時
- ⑥ 実施期間は 2012 年 6 月～8 月末と、2012 年 12 月～2013 年 2 月末の 2 回実施した。広報については、初回は 5 月より、2 回目は 11 月より実施した。
- ⑦ 採血後に記入してもらう調査票アンケート（診療所・クリニックで回収）を実施した。協力診療所・クリニックは計 7 施設で、岩佐クリニック、高田泌尿器科、田端医院で通常検査、そねざき古林診療所、亀岡クリニック、菅野クリニック、中村クリニックで迅速検査を行えるようにした。
- ⑧ 財源に関しては、2012（平成 24）年 6 月～8 月までを大阪府「地域医療再生基金事業」、2012（平成 24）年 12 月～2013（平成 25）年 2 月までを厚生労働省委託事業「同性愛者等の HIV に関する相談・委託事業」および大阪府「地域医療再生基金事業」とした。

(成果)

- ① 1 回目のキャンペーンの受検者数は 235 名であった。（昨年実施した同様のキャンペー

ンでは実施期間が同じ 3 ヶ月で 189 名の受検者であった。)

② 通常検査実施クリニックの受検者が 52 名、迅速検査実施クリニックの受検者が 183 名であった。

③ 受検者のうち、HIV 陽性が 6 名（陽性率は 2.6%）であった。その他の性感染症として、梅毒（要治療患者）が 6 名、B 型肝炎抗原陽性が 3 名、C 型肝炎抗体陽性が 0 名、クラミジア抗原陽性が（通常検査受検者 52 名中）2 名であった。

④ キャンペーンで検査を受けたが、結果を受け取りにこなかった人が 4 人いた。この対応として SaL+にて、キャンペーンが終了しても結果を受けとれる旨のアナウンスを行った。

⑤ クリニック・診療所の医師から陽性結果を受け取った時に資材を受け取ったことで、陽性の人のためのサービスやプログラムを知り、利用に至った人がいたことが確認された。これまでのクリニック検査キャンペーンを通して、クリニック・診療所と地域サービスの連携が強化されてきていることが示唆された。

⑥ キャンペーン期間中（5 月 17 日～8 月 31 日）の広報サイトの閲覧数(アクセス数) (PC サイトとスマートフォンサイトと携帯サイトの合算) は 8,400 件であった。閲覧ツールごとのアクセス数は、PC サイト 1,275 件（7 月 4 日～8 月 31 日）、スマートフォンサイト 3,136 件（7 月 4 日～8 月 31 日）、携帯サイト 1,151 件（7 月 9 日～8 月 31 日）であった。

⑦ マグネット資材の設置にあたり、MSM 向けサウナ系商業施設との交渉を行った。結果、大阪にある MSM 向けサウナ系商業施設 4 施設すべてから協力が得られた。

⑧ MSM 向けサウナ系商業施設用の資材は、ロッカーに貼付けられるカードサイズのマグネットを製作した。マグネットは、1,000

円キャンペーンのロゴと期間、キャンペーンサイトの URL、QR コードが記載されたものとした。

⑨ マグネットの貼付け作業は、MSM 向けサウナ系施設に協力いただき、計 980 個のロッカーの内側に貼りつけた。

⑩ 4 施設のうち 1 施設から、店舗の値引きキャンペーンと誤解されとの意見があり、キャンペーンについて詳しく記載したリーフレット型の資材を店舗の人と共同で製作した。

⑪ 今回初めてサウナ系商業施設のロッカー内に資材を設置することができた。またこの取り組みによりサウナ系商業施設との連携ができた。

⑫ 受検者アンケートの結果は以下のとおり：

(1) アンケートに協力してくれた 232 名の中で、今回初めて本キャンペーンを利用した人は 142 名、過去に利用した事がある人は 90 名であった。

(2) 重複回答を除いた有効回答者 (n=204, 有効回答率 86.8%) のうち、HIV 抗体検査の受検経験は、今回が初めての受検と回答した人は 23.5% (n=48) であった。また定期的に受検している意識をもっていた人は 40.2% (n=82) であった。

(3) 受検経験別に見ると、初受検者のなかでコミュニティスペース dista を知らないと回答した割合が 58.3%と、再受検者に比べて高かった。また MASH 大阪が発行しているコミュニティペーパー SaL+について「知らない」と回答した初受検者の割合が 83.3%と高かった。これらの結果は、本キャンペーンを利用した初受検者は、これまで MASH 大阪が行ってきた活動に触れていない層、いわゆる hard to reach 層であったことを示しており、本キャンペーンの広報の成果と考えられる。

(4) また、HIV サポートライン関西の認知率をキャンペーン利用経験別にみると、キャ

ンペーンを利用したことがある人 (n=70) の 41.4%、初利用者 (n=134) の 22.4% が HIV サポートライン関西を知っていると回答しており、初利用者は利用したことがある人と比べて、認知が有意に低かった。

陽性とわかって間もない人のためのプログラムである、ひよっこクラブを知っていたのは、キャンペーンを利用したことがある人の 25.7%、初利用者の 9.7% で、初利用者は利用したことがある人と比べて、ひよっこクラブの認知が有意に低かった。このことは陽性の人および周囲の人が利用できる支援サービスをキャンペーンの広報に掲載することで、支援サービスの認知がキャンペーン利用経験者に広がり、認知率が上がっていくことを示唆している。またキャンペーンを機会に、陽性とわかる前の人にも周知ができた可能性も考えられる。

- (5) また過去 6 ヶ月間に有料のハッテン場を利用していた割合を受検経験別にみると、初受検者で 47.9%、不定期的受検者で 62.2%、定期的受検者 50.0% であり、先行研究に比べて高い利用割合であった。この結果は、本キャンペーンの広報において該当の商業施設と協同できたことが影響したと考えられる。(付表 13a～13e)

2) プロフェッショナルミーティング (PM)

(目的)

大阪地域在住の MSM に対し、HIV 感染に関して予防と検査に関わるプログラムを提供する地域の人的リソースは、行政セクターで市民を対象に検査事業に関わっている専門職者(保健師、派遣カウンセラー等)、および予防や検査のプログラムを提供する市民セクターで働く専門職者(NGO 職員、ボランティア)の二グループに大別される。これまで、これら二つのセクターにまたがる情報共有の場は、

啓発や検査に関わるイベントなど偶発的な場合を除いて、恒常的な仕組みとしては実施されてこなかった。本企画は、検査事業に関わる専門職者がセクターを越えたネットワークを構築する場を恒常的に創出することで、大阪地区 HIV 予防と検査をめぐる環境を向上させることを目的とする。

ネットワーク構築の具体的な成果としては、①行政セクターの専門職者が大阪地域在住の MSM の予防・検査行動に関する情報を得ることで、MSM に対しより質の高いプログラムが提供できるようになる；②市民セクターの専門職者が地域全体の検査場における MSM 対応状況を把握することで、MSM への検査行動の促しに活用できるようになる；以上の二点が期待される。

今年度は 2 回のプロフェッショナルミーティング (以下、PM) を行った。

第一回目

開催日：平成 24 年 7 月 2 日 (月) 18:30～20:30
場所：dista(大阪市北区堂山町)

(内容)

①導入セッション、②プレゼンテーション：川畑拓也(大阪府立公衆衛生研究所)「大阪府と MASH 大阪の協働によるクリニック検査キャンペーン 2012 年版」；澤口智登里(大阪市保健所)「大阪市実施の MSM アンケート結果報告」；塩野徳史(名古屋市立大学看護学部)「大阪地域の保健所検査受検者アンケート(1-3 月期)報告」；3) 日頃の成果と課題を共有するための懇談会

(広報)

- ① 大阪市保健所、大阪府保健所の感染症担当より協力いただき各保健所(センター)へ周知した。
② 他政令都市については大阪府より周知。NPO/NGO への周知は NPO 法人関西エイズ対策協議会 (KAC) に周知を行った。

(結果)

- ① 参加者 21 名、発表者 3 名、スタッフ 4 名、MASH 大阪 2 名を含めて計 30 名
- ② dista 初来場者 10 名、参加者内訳 11 機関：大阪府本庁、池田保健所、四条畷保健所、藤井 寺保健所、守口保健所、大阪市北区、旭区、大阪市本庁、高槻市保健所、NPO 法人 CHARM、大阪医療センター

(成果)

- ①参加者アンケートに「NPO・NGO と行政の情報共有・課題共有の場となった」「他行政の取り組みを知ることができた」とあるように、縦割り行政の枠組みを超えた情報共有・課題検討の場になった。
- ②顔の见えない関係性でなくなった。
- ③現場と本庁の橋渡しに似た役割もできた。

第二回目

開催日：平成 25 年 2 月 4 日(月) 18：30～21：00
場所：山西福祉記念会館 3F 中会議室(大阪市北区神山町)

(内容)

第一回目以降、行政と MASH 大阪で協働した事業についての成果や課題の共有をすることで、来年度以降の行政の予定を共有し、連携や協働についての意見交換を行った。

- ①導入セッション：町登志雄(MASH 大阪) PM について、②プレゼンテーション：箱崎麻里(大阪市淀川区役所)「エイズ予防週間における予防啓発活動と夜間検査の取組報告」；川畑拓也(大阪府立公衆衛生研究所)「クリニック検査キャンペーン 2012 年夏の報告」；山中麻紀(大阪府健康医療部保健医療室地域保健感染症課感染症グループ)「大阪府と MASH 大阪の協働保健師研修について」、③自己紹介と来年度に向けた連携について考える検討会

(広報)

- ① 大阪市保健所、大阪府保健所の感染症担当に協力いただき各保健所(センター)へ周知した。また大阪市保健師の HIV 自主勉強会の一環のひとつに取り入れてもらった。
- ② 他政令都市については大阪市に周知を依頼。
- ③ 府、市より委託を行って検査を行っている団体へは大阪府から周知をお願いした。他 NGO についてはプラットフォーム組織であるエイズ対策協議会会議内で周知と、個別にメールで周知をした。

(結果)

参加者 20 名、発表者 4 名、スタッフ 4 名を含めて計 36 名。PM 初参加者 16 名、参加者内訳 14 機関：大阪府保健所、堺市保健所、四条畷保健所、大阪市北区、中央区、淀川区、平野区、城東区、生野区、浪速区、住吉区、大阪市保健所、SWASH、東大阪山路病院

- ①縦割り行政の枠組みを超えた情報共有・課題検討の場になった。また行政と MASH 大阪の取り組みを紹介することで他の行政と連携を具体的に提示できた。
- ②顔の见えない関係性でなくなった。
- ③今後の連携の形も見えたのでよかった。

3)大阪府の検査場面における MSM への対応の研修会

(目的)

大阪府の検査場面における研修のひとつとして、HIV 相談について、MSM 対応の模擬体験を主に行うプログラムを企画して実施した。検査に関わる保健師さんに MSM への対応に慣れてもらう事を目的とした。

(内容)

MSM 対応の模擬体験にて、HIV 検査の利用者役を MASH 大阪のボランティアスタッフから

リクルートし、保健師がより現実的な相談場面を体験してもらう試みを行った。

HIV 検査・相談事業に関わる保健師や医師等を対象とした。また、受講者が今回の研修で知りたいことについて事前に情報を集め、研修の中で返すようにした。

(結果)

開催日：平成 24 年 12 月 10 日

場 所：大阪府立公衆衛生研究所

参加者：26 名（受講者 15 名、発表者 1 名、講師 1 名、MSM 対応の模擬体験講師 5 名、スタッフ 4 名）

参加施設：池田保健所、茨城保健所、藤井寺保健所、岸和田保健所、枚方保健所、守口保健所、泉佐野保健所、寝屋川保健所、富田林保健所、和泉保健所、豊中市保健所、スマートらいふネット

D. 考察

年度初頭に掲げた研究計画の項目にそって、研究事業の実施状況を以下に総括した。

1. 一次予防関連プログラム

- 1) コミュニティペーパー＜SaL+＞は、計画通りに執行された。内容面での傾向も昨年を踏襲したものとなった。
- 2) コミュニティペーパー＜南界堂通信＞を中高年に特化した資料として、発行する事が出来た。今後は安定した編集体制を構築できるよう体制の整備を行う。
- 3) コミュニティスペース＜dista＞は、おおむね計画通りに執行された。その結果として、利用者は微増したが、新規利用者の割合は昨年と同等なので、今後は新しい層をどう効率的に取り込んで行くかを計画する必要がある。
- 4) 若年層のネットワーク育成＜Step＞は、計画通りに執行されたが、ターゲットとする層からのリクルートに課題を残す結果となった。

- 5) STI 勉強会＜SEX & LIFE 勉強会＞は、プログラムの名称と内容が変更されたが、これまでの質やノウハウを活かしながら維持され、参加するクライアント数もほぼ前年までの水準を維持した。

2. 二次予防関連プログラム

- 1) STI クリニックでの受検を促進するプログラム＜クリニック検査キャンペーン＞を実施した（2012 年 6 月～8 月末と、2012 年 12 月～2013 年 2 月末まで）。また、新たな広報戦略として今回ハッテン場との協力体制としてロッカーにマグネットを貼る広報を実施する事が出来た、またそれをきっかけに、ハッテン場オーナーと協同で資料を製作する事が出来た。また、ロッカーに常設の啓発資料マグネットポケットを設置することが出来た。
- 2) PM（プロフェッショナル・ミーティング）では、色々なセクターが MSM の HIV 予防を考える事によって、NPO/NGO と行政機関との情報共有や、考える場になった。

3. アウトリーチ関連

- 1) 配布部数、参加するボランティア数、配布先店舗数など、昨年と同様の規模と質を維持した。また、＜南界堂通信＞の配布により、これまで取引がなかった中高年向け店舗 21 件と新たに連携を持つ事が出来た。
- 2) 保健所臨時検査の案内や、dista にて開催した JaNP+トークショーの案内を配布の際に、保健所やトークショーのスタッフにアウトリーチ前のミーティングにて企画の趣旨説明などをしてもらうことで、より内容を理解してアウトリーチができるように努めた。

4. アドボカシー関連

- 1) 昨年に引き続いて行政との協働事業を展開した。兵庫県との関係構築が進展し、大阪

市が改定をすすめている予防指針に対して助言を行った。

- 2) 大阪市淀川区の臨時検査イベントの広報を依頼され、臨時検査イベントの広報カードの製作とゲイ商業施設向けへの配布を行った。
- 3) 大阪市保健所より依頼を受け、大阪市内で受検可能な HIV 無料匿名検査場の広報ポスターを制作し、ゲイ商業施設に配布した。

5. 研究関連

- 1) MSM における行動科学調査および介入評価研究

- (1) HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

大阪府内 17 か所の保健所の協力を得て質問紙調査を実施した；大阪府泉佐野保健所、大阪府八尾保健所、大阪府守口保健所、大阪府岸和田保健所、大阪府寝屋川保健所、大阪府吹田保健所、大阪府四條畷保健所、大阪府枚方保健所、大阪府藤井寺保健所、大阪府茨木保健所、大阪府富田林保健所、大阪府和泉保健所、大阪府池田保健所、大阪市淀川区保健福祉センター、大阪市北区保健福祉センター、大阪市中区保健福祉センター、豊中市保健所、コミュニケーションセンターchot CAST なんば「スマートらいふクリニック」(2012 年 10 月より)。

(目的)

HIV 検査受検者の特徴や差異を調べること、個別施策層(特に MSM)の動向を把握し、検査行動に関する促進要因の明確化を目的とした。

(方法)

各協力保健所において、HIV を含む性感染症の検査受検者にアンケートの回答を依頼し、同意の得られた受検者から回答を得た。通常検査、即日検査のいずれの場合も検査結果が

返却される前にアンケートを記入することを依頼した。アンケート記入後は回答者が回答用封筒にアンケートを密封し、保健所に設置された回収箱に投函した。これらのアンケートを毎月月末に保健所から回収した。

(結果)

受検件数は第 1 四半期(2012 年 1 月-3 月)が 2,144 件、第 2 四半期(2012 年 4 月-6 月)が 1,999 件、第 3 四半期(2012 年 7 月-9 月)が 1,908 件、第 4 四半期(2012 年 10 月-12 月)が 3,328 件で、全期間の総受検件数は 9,379 件であった。そのうち陽性判明数は 31 件(0.33%)であった(付表 15a)。またアンケート回収数は第 1 四半期が 1,539 件(回収率 71.8%)、第 2 四半期が 1,218 件(回収率 60.9%)、第 3 四半期が 1,346 件(回収率 70.5%)、第 4 四半期が 2,661 件(回収率 80.0%)であった。

第 1、第 2、第 3、第 4 四半期それぞれの初回受検者割合は 53.8%、56.1%、55.1%、50.2%、24 歳以下割合は 24.2%、23.0%、22.9%、22.0%、MSM 割合は 10.7%、11.0%、10.0%、13.7%、性風俗利用者割合は 25.1%、27.5%、29.0%、30.7%、性風俗従事者割合は 5.3%、4.6%、5.3%、5.8%であった(付表 15a)。

MSM の特性を把握するため、受検経験に着目し、初受検者と再受検者の差異を検討した(付表 15b 及び 15c)。初受検者 MSM のなかで、年齢が 20 代の割合は 46.7%であったのに対し、再受検者 MSM では 34.5%であり、初受検者 MSM と再受検者 MSM で年齢層に差異が見られた($p<0.01$)。婚姻状況については、既婚者の割合は初受検者 MSM で 15.6%に対し、再受検者 MSM で 8.3%であり、初受検者 MSM が有意に高かった($p=0.03$) (付表 15b)。

周囲の HIV 感染者の存在について「いる・いると思う」と回答した割合(初受検者 MSM 32.0% vs 再受検者 MSM 57.9%、 $p<0.01$)、過

去6ヶ月間にHIV感染を不安に感じる事が「よくあった・時々あった」と回答した割合(36.9% vs 54.4%、 $p=0.01$)、HIVに関する相談相手や場所を「知っている」と回答した割合(63.1% vs 77.8%、 $p<0.01$)、自発的検査割合(81.1% vs 95.6%、 $p<0.01$)、一人で検査受検に来た割合(81.1% vs 92.5%、 $p<0.01$)はいずれも再受検者MSMで高かった(付表15c)。

更に広報資材認知についても、各行政の紙資材・ポスター広報誌等(初受検者MSM 5.7% vs 再受検者MSM 18.3%、 $p<0.01$)、NGO資材(9.0% vs 24.6%、 $p<0.01$)の認知割合のいずれもが初受検者MSMに比し、再受検者MSMで有意に高かった(付表15c)。

(考察)

保健所におけるHIV検査受検者のなかで、MSM割合は10%-11%であった。また再受検者MSMは、初受検者MSMに比し、HIVに関する相談相手や場所の認知割合、自発的検査割合が高くなっていた。このことから初受検後にHIV感染予防への認識は更に高まった可能性がある。また広報資材について、各行政の紙資材・ポスター広報誌やNGO資材の認知割合が再受検者で大きく上昇しており、初回受検後にこれらの資材を認知する機会が増加し、再受検行動を促す要因となった可能性がある。

ゲイコミュニティに向けた啓発資材の提供を含むHIV検査に関する情報提供を今後も積

極的に継続するべきである。

(2) インターネット横断調査および追跡パネル調査

コミュニティベースの携帯電話による性の健康に関する質問紙調査(以下、GCQアンケート)として、クラブイベント等と連携した横断調査、その後の追跡パネル調査を実施した(研究方法の詳細については、分担研究の「MSMにおけるHIV感染の行動科学調査および介入研究」を参照)。

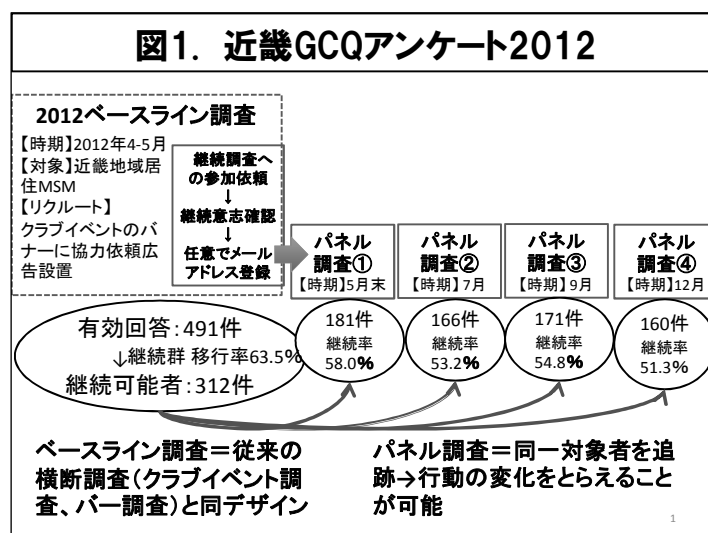
(目的)

近畿地域の、ゲイコミュニティの実態、介入評価を行うことである。

(方法) 近畿地域では、クラブイベントと連携したインターネット横断調査を4-5月にかけて、また追跡パネル質問紙調査を5月と7月、9月、12月の計4回実施した。

(結果)

5月までのインターネット横断調査では491件の有効回答を得た(ただしこの491件には他地域で実施した調査で、居住地が近畿地域と回答した人を含む)。横断調査の基礎集計の結果を(付表16a~16e)に示した。追跡パネル調査については、5月は181件、7月は166件、9月は171件、12月には160件の有効回答を得た。



(考察)

基礎属性については、対象者の年齢層は他地域と同じく、若い年齢層の方が多い傾向が見られた。継続可能者、継続率はほかの地域より高く、継続パネル調査においても毎回150件以上の有効回答が収集できている。しかし年齢層別の分析となるとより多くの対象者が必要となる。継続率は比較的高いことから、今後は第1回の調査においてより多くの対象者の協力を得るような工夫が必要である。次年度は介入の目的や対象者層についてはターゲットを定め集中して介入を実施しその前後でGCQアンケートを行うことで活動効果評価ができるようにする必要がある。

(3) STI クリニックでの検査プログラム＜クリニック検査キャンペーン＞

詳細については、前述の2. 二次予防関連プログラム 1) クリニック検査 1,000 円キャンペーンを参照のこと。(付表 13a～13e)

6. 学会等での情報発信

- 1) 第53回日本社会医学会総会において、研究協力者から MASH 大阪の活動に関する評価研究発表がなされた。
- 2) 第26回日本エイズ学会学術集会・総会において、MASH 大阪の活動報告を行った。
- 3) 日本性感染症学会第25回学術大会において、研究協力者らとともに、クリニック検査 1,000 円キャンペーンについての発表を行った。

(F. 発表論文等を参照)

E. 結語

1. プログラムはおおむね計画通りに継続された。コミュニティペーパー＜SaL+＞は、すでに長期間継続的に実施されているものであり、その効果も実証されている。量的、質的エビデンスも蓄積されてきており、本年度から事業化されたことで、運営基盤が

より安定した。また、これまで SaL+ では届かなかった中高年層向けのメディアも新たに作られた。

2. 「エイズ予防のための戦略研究」によって整備されたプログラムの多くが「同性愛者の HIV に関する相談・委託事業」によって引き継がれ、公費により委託を受けた民間非営利セクターが一次・二次・三次予防のプログラムを実施する状況が大阪地域に定着した。また、クリニック検査 1,000 円キャンペーンにおいては、自治体の予算を獲得し実施することが出来た。
3. 本年度はアウトリーチのボランティア募集において困難があった。アウトリーチ体制の再構築が喫緊の課題である。
4. 地方自治体が進める「予防指針」策定作業への参画、保健師研修への協力などの点において、行政との協働事業に進展が見られた。

F. 発表論文等

(論文)

1. Japan, Jane Koerner, Satoshi Shiono, Seiichi Ichikawa, Noriyo Kaneko, Hiroyuki Tsuji, Toshio Machi, Daisuke Goto, Tetsuro Onitsuka: Factors associated with unprotected anal intercourse and age among men who have sex with men who are gay bar customers in Osaka, Sexual Health, 23 February 2012
2. 金子典代, 大森佐知子, 辻宏幸, 鬼塚哲郎, 市川誠一: ゲイ・バイセクシュアル男性における HIV 感染予防行動のステージと関連要因: 大阪市内での商業施設利用者への質問紙調査から, 日本公衆衛生雑誌, 58(7), 501-514, 2011

(口頭発表)

1. Tetsuro Onitsuka, Sohei Yamada, Hiroyuki Tsuji, Daisuke Goto, Toshio Machi, Takaki Toda, Hirokazu Kimura,

- Kumiko Nakamura, Seiichi Ichikawa: Analysis of Paper Media Contents Targeting Approach to Outreach MSM in the Osaka Region, The 10th ICAAP, Busan, Korea, 2011
2. Tetsuro Onitsuka, Hiroyuki Tsuji, Jane Koerner, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa: The HIV/AIDS epidemic among MSM in Japan: Background & gay NGO responses, 1st Developed Asia Regional Consultation on HIV in MSM and TG, Singapore, 2010
 3. 後藤大輔, 川畑拓也, 岳中美江, 塩野徳史, 萬田和志, 町登志雄, 中村文昭, 鬼塚哲郎, 市川誠一: ゲイ向けクラブイベントにおける郵送検査キットを用いた検査普及プログラムの試行と課題, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
 4. 川畑拓也, 後藤大輔, 町登志雄, 中村文昭, 鬼塚哲郎, 小島洋子, 森治代, 塩野徳史, 岳中美江, 田端運久, 古林敬一, 岩佐厚, 高田昌彦, 菅野展史, 亀岡博, 大里和久, 市川誠一: 診療所を窓口とした個別施策層向けHIV検査普及プログラムの確立に向けた検討, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
 5. 川畑拓也, シンポジウム: 「クリニック検査キャンペーン」における医療機関への支援, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
 6. あかたちかこ, 下山美穂: 本の都市圏における Hard to Reach Population に対する HIV 予防啓発資材の開発と配布-当事者と協働した HIPHOP 系クラブイベントでの実践報告を中心に-, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
 7. 川畑拓也, 小島洋子, 森治代, 古林敬一, 亀岡博, 岩佐厚, 高田昌彦, 菅野展史, 田端運久, 大里和久: 診療所における MSM 向け HIV/STI 検査キャンペーン (2011 年度) - 第1報 - キャンペーンの改善点と検査結果, 日本性感染症学会第25回学術大会, 岐阜市, 2012
 8. 後藤大輔, 岳中美江, 鬼塚哲郎, 古林敬一, 亀岡博, 大里和久, 岩佐厚, 菅野展史, 高田昌彦, 田端運久: 診療所における MSM 向け HIV/STI 検査キャンペーン (2011 年度) - 第2報 - 検査普及啓発資材について, 日本性感染症学会第25回学術大会, 岐阜市, 2012
 9. 塩野徳史, 市川誠一, 川畑拓也, 大里和久, 古林敬一, 岩佐厚, 亀岡博, 田端運久, 高田昌彦, 菅野展史: 診療所における MSM 向け HIV/STI 検査キャンペーン (2011 年度) - 第3報 - 受検者の特性, 日本性感染症学会第25回学術大会, 岐阜市, 2012
 10. 塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 鬼塚哲郎, 後藤大輔, 町登志雄: MSM向け予防啓発大規模イベントの継続が大阪のMSMコミュニティに与えた効果, 第53回日本社会医学学会総会, 高槻市, 2012

【付表 1：SaL+配布実績—2012 年度（2012 年 12 月末時点）】

期間	配布された施設 (昨年度の数値)	送付団体・個人 (昨年度の数値)	配布された部数 (昨年度の数値)	配布スタッフ延べ数 (昨年度の数値)
2012 年 4 月	185 店舗(191 店舗)	41 団体 (41 団体)	6431 部(6667 部)	21 名(16 名)
5 月	186 店舗(192 店舗)	41 団体 (42 団体)	6326 部(6837 部)	21 名(23 名)
6 月	181 店舗(194 店舗)	41 団体 (42 団体)	6274 部(6756 部)	23 名(19 名)
7 月	185 店舗(194 店舗)	41 団体 (42 団体)	6337 部(6777 部)	17 名(21 名)
8 月	185 店舗(192 店舗)	41 団体 (42 団体)	6296 部(6712 部)	21 名(17 名)
9 月	185 店舗(194 店舗)	42 団体 (42 団体)	6326 部(6682 部)	18 名(15 名)
10 月	180 店舗(194 店舗)	41 団体 (42 団体)	6204 部(6707 部)	22 名(17 名)
11 月	181 店舗(190 店舗)	41 団体 (42 団体)	6226 部(6537 部)	30 名(20 名)
12 月	185 店舗(193 店舗)	45 団体 (42 団体)	6316 部(6562 部)	26 名(17 名)
2013 年 1 月	店舗(190 店舗)	団体 (42 団体)	部(6447 部)	名(10 名)
2 月	店舗(店舗)	団体 (団体)	部(部)	名(名)
3 月	店舗(店舗)	団体 (団体)	部(部)	名(名)
4 月～11 月	月平均 183 店舗	月平均 41 団体	月平均 6302 部 合計 50420 部	月平均 21 名 合計 173 名

【付表 2：南界堂通信配布実績（2012 年 12 月末時点）】

期間	配布された施設	送付団体・個人	配布された部数	配布スタッフ延べ数
11 月	199 店舗	41 団体	1628 部	23 名
2013 年 3 月（予定）	店舗	団体	部	名
計	月平均 199 店舗	月平均 41 団体	合計 1628 部	合計 23 名

【付表 3：dista 利用者状況-2012 年度（12 月末時点）】

期間	MASH 大阪 業務利用者 (うち初来場者)	イベント来場者 (うち初来場者)	ふらっと来た人 (うち初来場者)	貸し出し (うち初来場者)	合計 (うち初来場者)	稼働時間
4 月	73 名(6 名)	153 名(6 名)	383 名(29 名)	21 名(10 名)	630 名(51 名)	181.5 時間
5 月	53 名(7 名)	134 名(7 名)	462 名(43 名)	35 名(7 名)	684 名(64 名)	191.5 時間
6 月	75 名(6 名)	126 名(6 名)	454 名(50 名)	0 名(0 名)	655 名(62 名)	180.0 時間
7 月	46 名(2 名)	185 名(26 名)	410 名(38 名)	26 名(15 名)	667 名(81 名)	187.0 時間
8 月	75 名(12 名)	113 名(9 名)	405 名(43 名)	8 名(0 名)	601 名(64 名)	175.5 時間
9 月	41 名(1 名)	120 名(4 名)	417 名(33 名)	12 名(0 名)	590 名(38 名)	185.0 時間
10 月	70 名(5 名)	157 名(21 名)	405 名(26 名)	25 名(2 名)	657 名(54 名)	175.0 時間
11 月	86 名(1 名)	258 名(25 名)	357 名(35 名)	3 名(0 名)	704 名(61 名)	194.0 時間
12 月	57 名(2 名)	185 名(27 名)	308 名(27 名)	2 名(1 名)	552 名(57 名)	161.0 時間
1 月	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	時間
2 月	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	時間
3 月	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	名(名)	時間
年度合計	576 名(42 名)	1431 名(131 名)	3601 名(324 名)	132 名(35 名)	5740 名(532 名)	1630.5 時間
月平均	64.0 名 (4.7 名)	159.0 名 (14.6 名)	400.1 名 (36.0 名)	14.7 名 (3.9 名)	637.8 名 (59.1 名)	181.2 時間

【付表4：dista利用者数年度別推移-2003年4月～2012年12月末時点】

年度	合計	月平均
2003 年度（平成 15 年度）	3436 人	286.3 人
2004 年度（平成 16 年度）	5910 人	492.5 人
2005 年度（平成 17 年度）	6187 人	515.5 人
2006 年度（平成 18 年度）	8402 人	700.2 人
2007 年度（平成 19 年度）	9377 人	781.4 人
2008 年度（平成 20 年度）	9749 人	812.4 人
2009 年度（平成 21 年度）	9815 人	817.9 人
2010 年度（平成 22 年度）	9989 人	832.4 人
2011 年度（平成 23 年度）	7331 人	610.9 人
2012 年度（平成 24 年度） 12 月末現在	5740 人	637.8 人

【付表5：dista利用者年代別状況-2012年度（12月末時点）】

期間	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代～	合計
4 月	14 名	319 名	200 名	76 名	21 名	630 名
5 月	20 名	325 名	238 名	83 名	18 名	684 名
6 月	11 名	301 名	238 名	91 名	14 名	655 名
7 月	10 名	278 名	246 名	105 名	28 名	667 名
8 月	11 名	286 名	220 名	63 名	21 名	601 名
9 月	11 名	268 名	229 名	60 名	22 名	590 名
10 月	9 名	293 名	268 名	69 名	18 名	657 名
11 月	19 名	274 名	303 名	86 名	22 名	704 名
12 月	14 名	224 名	214 名	75 名	25 名	552 名
1 月	名	名	名	名	名	名
2 月	名	名	名	名	名	名
3 月	名	名	名	名	名	名
合計	119 名	2568 名	2156 名	708 名	189 名	5740 名
月平均	13.2 名	285.3 名	239.6 名	78.7 名	21.0 名	637.8 名

【付表6：主たる dista カフェイベント及び教室・講座の実施内容一覧-2012 年度（12 月末時点）】

イベント名	イベント・教室の内容
Salon de ONI	ワインを楽しみながら、年齢層の高い人も交えてじっくり深い話が出来る空間を提供する。不定期、第4土曜日に開催。
レインボーアディクションミーティング	LGBTの人たち向けの様々なアディクションからの解放と回復を目的としたグループミーティング。毎月第4木曜日に開催。
東方美男	中国茶やスイーツを手軽に楽しみながら、来場者同士でじっくり話の出来る空間を提供する。隔月1回、第1土曜日に開催。
CAMP!	映画を素材として、参加者と主催者でセクシャルマイノリティに関する話題を展開していくイベント。3ヶ月に1回開催。
虹茶房	地域社会を構成する様々な人達（ヘテロセクシュアル/LGBT/HIV 陽性者）が等しく豊かさを求められるコミュニティ・社会の実現を目指し、ふれ合いの場を提供する。毎月最終金曜日に開催
honey movie	ゲイや社会にまつわる映画・映像作品を観て、感じたことを語らうイベント。毎月第4日曜日に開催
教室名	
一般ハングル教室	Gay のための韓国語会話教室。教室以外にも温泉旅行に韓国旅行など、メンバーの親睦も図るイベントも行う。隔週金曜日に開催。
Sign-手話教室-	セクシャルマイノリティ対象の手話教室。日本手話でろう者と日常的な会話ができるようになる事を目的としている。隔週金曜日に開催。
中国語講座	片言でも通じる観光用の会話と中国語歌詞でカバーした日本曲の「サビ」カラオケを題材とした中国語教室。毎月第1土曜日と第3日曜日に開催。
アートワークショップ アトリエP	様々な画材を使って自由にモノ作りを通して参加者にリフレッシュしてもらい、交流してもらおうオープンスタイルのワークショップ。毎月第3土曜日に開催。
堂山アートな ふう&ひあ	アートに関するセッション(講義)とクリエイション(実技)により、アートをより詳しく知ることを目的としたワークショップ。毎月第2木曜日に開催。
発達障害とジェンダー/クィア	ジェンダー/クィアというフィルターを通して発達障害の問題を考える、或いは、発達障害というフィルターを通してジェンダー/クィアの問題を考えることを目的とする。毎月第1月曜日に開催。

【付表7: dista 展覧会の実施内容一覧-2012 年度 (12 月末時点)】

タイトル	アーティスト	期間	来場者数
海とモノクローム 木村べん原画展	スタジオカイズ	7 月 4 日～7 月 16 日	134 名
IT' S OK!! EXHIBITION!!	ワルダクミ★メガネーズ	10 月 10 日～10 月 22 日	109 名
三人展 - 3 つの神話、3 つの起源 -	龍谷 尚樹、悠次郎、Taka(s)hiro	11 月 14 日～11 月 26 日	126 名

【付表8: dista 相談件数の推移-2012 年度 (12 月末時点)】 (電話相談・別目的での来場後に相談へ移行したものを含む)

月 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
2004 年度	1 件	3 件	4 件	3 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	3 件	3 件	0 件	18 件	1.5 件
2005 年度	2 件	2 件	0 件	4 件	1 件	5 件	1 件	1 件	1 件	1 件	0 件	1 件	19 件	1.6 件
2006 年度	6 件	10 件	4 件	0 件	1 件	7 件	1 件	3 件	3 件	6 件	3 件	5 件	49 件	4.0 件
2007 年度	5 件	7 件	23 件	15 件	9 件	7 件	19 件	5 件	5 件	0 件	0 件	2 件	97 件	8.1 件
2008 年度	19 件	10 件	19 件	18 件	20 件	19 件	21 件	32 件	18 件	23 件	20 件	27 件	246 件	20.5 件
2009 年度	10 件	31 件	16 件	26 件	14 件	28 件	19 件	27 件	21 件	3 件	1 件	6 件	202 件	16.8 件
2010 年度	20 件	15 件	29 件	9 件	13 件	25 件	21 件	10 件	12 件	24 件	10 件	5 件	193 件	16.0 件
2011 年度	23 件	18 件	21 件	8 件	11 件	23 件	23 件	8 件	3 件	24 件	15 件	10 件	187 件	15.5 件
2012 年度	20 件	29 件	53 件	36 件	54 件	63 件	67 件	41 件	18 件	件	件	件	12 月迄 381 件	12 月迄 42.3 件

【付表9: dista 相談内容の状況-2012 年度 (12 月末時点)】

相談内容 (複数チェック)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間 合計
A 群	HIV 感染不安		1	3	3	2	1	3	1	4				
	STI 感染不安		1	1	2	3	1	3	1	2				
	HIV 検査に関する相談／報告	2	2	4	1	2	2	2	2	1				
	STI 検査に関する相談／報告		1	1	1		2	2	1					
	HIV/エイズの治療についての質問・報告							3						
	HIV/エイズに関するその他(一般的な)質問	1	1			1			1					
	HIV 陽性者としての生活・制度・支援		1				1	2		1				
	HIV 陽性者グループ・医療相談機関紹介 A 群その他			1			1	1	1					
B 群	恋愛・セックス	6	5	12	7	17	14	11	6	2				
	現在のパートナーとの関係	2	1	3	2	3	7	9	1	3				
	家族との関係について	2	2	6	3	6	6	5	7	1				
	ライフステージに関する不安・問題 (進学・仕事・就職・結婚・パートナーシップ・老後の生活等)	1	3	3	5	7	12	10	8	3				
	経済的な不安／問題	1	1	1			3	2	3					
	アイデンティティ、カミングアウト	4		4	1		3	3	3					
	精神的不安、疾患	1	5	9	8	7	5	6	5	1				
	薬物使用、依存からの回復		2		1	1								
	その他の健康相談		1		2		1							
C 群	B 群その他		1	5		3	1	4	1					
	企業・行政等との協働、NPO/CBO 組織運営					1	1							
	研究デザイン・論文等		1											
C 群その他						1	2	1						
合計		20	29	53	36	54	63	67	41	18				

【付表 10：コミュニティセンターにおける対人支援会議（2012 年 11 月末時点）】

開催日	アジェンダ	参加者数	内容
2012 年 4 月	①MASH 大阪のミッションの確認 ②dista のミッションの確認 ③dista は今後どうなって欲しい？ ④dista の目標 ⑤ミーティングについての提案 ⑥MASH 大阪の今年のプログラムについて	4 名	③について「認知を上げる」「来場者数を上げる」「リソースの準備」「コーディネート」について意見交換を行い、④については、具体的な内容を話し合った。⑤については、目標を設定し、評価するサイクルを一年ほどかけて、考えたいということ認識あわせした(PDCA サイクル)
5 月	①dista 運営の実状についての共有 ②dista のクオリティとは？ ③魅力的になるとは？	5 名	①について、コスト分(主に家賃)の成果を求められている現状を共有し、dista の質(クオリティ)の向上が来場者数増加に繋がると考え、②にてクオリティについて意見交換を行った。③について、「dista に関わる人が魅力的になる」ということについて「魅力的」という部分を共有し、次のワークショップにてより掘り下げて検討することとした
6 月	今 dista スタッフとして「得意なこと」「苦手なこと」を考えるワークショップの実施	5 名 3 名	ワークは 1) アイスブレイク、2) ワークショップ、3) 休憩、4) 共有の流れで実施し、共有ではグランドルールを設け行った。ワークの主旨は、得意不得意を自分で認識することによって、自己覚知を促し、自己理解を深めていくことというものであった。
7 月	①前回のミーティングの振り返り ②事務局より報告と検討 ③dista 気になること ④dista 企画イベント案	5 名	①振り返りの中で、「各自のスタンス・やり方や持ち味を出す際には、自然体で自分の感情に左右されないニュートラルな心構えを持とう」ということを共有した。③では参加者から日頃気になることを持ち寄り、意見交換を行った。「来場者増加やそこからネットワークを作り出せるようなイベントを」という意見より、dista 企画イベントの意見交換を行った。
8 月	①寄贈された本について ②テーブルに平積みされているフライヤーについて ③クレームについて ④今後の予定 ⑤相談について	6 名	③では dista に届いているクレームのいくつかを抜粋し、それを元に反省とクレームに対する向き合い方について確認を行った。そして、クレームから見えてくるものとして「スタッフは来場者から非常によく見られている」「来場者のニーズである」という側面であることを共有した。クレームの中に、「誤った情報やリソースを紹介された」というものは無く、情報センターとしての役割は果たされているのではないかと確認された。
9 月	①今後の予定 ②クレームについて ③自分の課題を考える ④相談内容の共有	7 名	③にて、自分の課題を発表し共有を行った。それぞれの課題から、共通の課題や dista の抱える課題を確認し、各人がどのように対応するか考える機会を設けた。主な内容は、来場者への対応であった。前回のミーティング内容を踏まえ、対応の均一化を目指すものや、問題対応、負担の分担についてが挙げられた。また、コンシェルジュとしての禁止事項を確認した。
10 月	①今後の予定 ②honey movie 開催について ③拡大プログラム担当者会議報告とその後の流れ ④dista イベント企画について	6 名	①より、年度末には dista 利用者感謝祭の開催が提案された。日程等も含めて、今後検討することとした。④では、「STEP デー」を設ける話が提案され、意見交換を行った。ミーティングの後、dista の倉庫と相談室の掃除及びリソースの整理を行った。
11 月	①今後の予定 ②dista 企画イベントについて ③dista 開催講座アンケートについて	5 名	①にて、年末年始の開館スケジュールについて共有した。②では前回のミーティングから継続の検討となり、「STEP デー」については、毎月実施の定例化についてと開催時間を検討した。「dista 利用者感謝祭」については、対象と日程を検討した。③について、アンケート実施の提案について意見交換を行った。

【付表 11：STI 勉強会（SEX & LIFE 勉強会） 実施内容と予定】

月	テーマ	内容
4月	セックス&ライフ	SaL+のポジティブライフの記事を読んで「ゴム付けて」って言いにくいとき「自分だったらどうする?」かを参加者に考えてもらった。 ※STI感染経路
5月	男の魅力★	フリップ使って、やりたいオトコとつきあいたいオトコの違いについてトークを行った。 ※STI検査ウインドウピリオド
6月	MYコンドームを探そう！	様々なコンドームの見本を手にとって、大きさや形状を 触って確かめた後に自分に合ったコンドームを近所の ディスカウントストアに探しに行った。
7月	セイファーセックスって??	セックスの中の思いこみについて話した。リスクヘッジの方法やコンドームネゴシエーションについて話した。
8月	HIV/AIDSの30年の歴史	ZappNambaで行われた大型ゲイイベントにてHIV/AIDSの30年の年表（エイズ予防財団事業費にて作成）を展示しブースを設置した。そこで年表を見ている人に声をかけ情報提供と、同時に開催していたコンドーム抽選会への参加を促した。
9月	理想の人とする理想のSEX！	理想の人とする理想のセックスのタイムテーブルを作ってもらい、その後よりセーファーマなセックスをどうすればいいか参加者と考えた。
10月	STIの体験談	SaL+105号とSaL+107号の特集記事「性感染症の体験談」を読み、検査を受ける際の注意（ウインドウピリオド等）や感染経路、予防の方法について話した。
11月	HIV	HIVの感染経路や、Hの前に気を付けておくことなどについての情報提供を行った。

【付表 12：若年 MSM ネットワーク構築支援プログラム step 実施状況 2012 年度（2012 年 12 月末時点）】

開催日	企画テーマ	参加者数（新規 STEP 参加者）【dista 初来場者】
2012 年 4 月 8 日	「お花見 STEP」	60 名（21 名）【3 名】
5 月 26 日	「Café STEP」	15 名（2 名）【1 名】
7 月 14 日	「サナプー STEP」	5 名（2 名）【0 名】
計	-	80 名（25 名）【4】

【付表 13a：選べる!! STI 検査 1000 円キャンペーン 受検者アンケート結果】
受検経験別分析(1)

	受検経験						合計(N204)		Pearson カイ2乗
	定期受検(n82)		不定期受検(n74)		初受検(n48)				
クリニック									
そねざき古林診療所	32	39.0%	37	50.0%	13	27.1%	82	40.2%	0.56
岩佐クリニック	11	13.4%	10	13.5%	10	20.8%	31	15.2%	
亀岡クリニック	8	9.8%	3	4.1%	4	8.3%	15	7.4%	
高田泌尿器科	3	3.7%	2	2.7%	1	2.1%	6	2.9%	
田端医院	1	1.2%	3	4.1%	1	2.1%	5	2.5%	
菅野クリニック	3	3.7%	3	4.1%	3	6.3%	9	4.4%	
中村クリニック	24	29.3%	16	21.6%	16	33.3%	56	27.5%	
あなたが今回HIV検査(エイズ検査)を受けた月をご記入ください。									
6月	28	34.1%	25	33.8%	9	18.8%	62	30.4%	0.16
7月	23	28.0%	17	23.0%	20	41.7%	60	29.4%	
8月	31	37.8%	32	43.2%	19	39.6%	82	40.2%	
年齢階級									
29歳以下	29	35.4%	20	27.0%	27	56.3%	76	37.3%	0.01
30-39歳	27	32.9%	33	44.6%	10	20.8%	70	34.3%	
40歳以上	26	31.7%	21	28.4%	11	22.9%	58	28.4%	
居住地									
大阪市	45	54.9%	33	44.6%	21	43.8%	99	48.5%	0.18
大阪市を除く大阪府	16	19.5%	19	25.7%	18	37.5%	53	26.0%	
他府県	21	25.6%	22	29.7%	9	18.8%	52	25.5%	
あなたは次のどれにあてはまりますか？									
ゲイ	71	86.6%	60	81.1%	31	64.6%	162	79.4%	0.03
バイセクシュアル	10	12.2%	13	17.6%	17	35.4%	40	19.6%	
その他	1	1.2%	1	1.4%	0	.0%	2	1.0%	
健康保険加入状況									
国民健康保険	28	34.1%	25	33.8%	20	41.7%	73	35.8%	0.18
職場の健康保険	47	57.3%	36	48.6%	19	39.6%	102	50.0%	
被扶養者の健康保険	7	8.5%	9	12.2%	8	16.7%	24	11.8%	
持っていない(無回答含む)	0	.0%	4	5.4%	1	2.1%	5	2.5%	
過去6ヶ月間に下記の施設を利用したことがありますか？									
ゲイバー	54	65.9%	30	40.5%	21	43.8%	105	51.5%	<0.01
ゲイナイト	24	29.3%	17	23.0%	5	10.4%	46	22.5%	0.05
ゲイショップ	26	31.7%	21	28.4%	13	27.1%	60	29.4%	0.83
有料ハッテン場	41	50.0%	46	62.2%	23	47.9%	110	53.9%	0.20
野外のハッテン場	11	13.4%	9	12.2%	2	4.2%	22	10.8%	0.23
ハッテン場で有名な公共施設	18	22.0%	20	27.0%	10	20.8%	48	23.5%	0.67
PC出合い系	35	42.7%	27	36.5%	12	25.0%	74	36.3%	0.13
携帯出合い系	37	45.1%	35	47.3%	17	35.4%	89	43.6%	0.41
エロ系SNS	17	20.7%	11	14.9%	6	12.5%	34	16.7%	0.42
ゲイ向けアプリ	50	61.0%	37	50.0%	15	31.3%	102	50.0%	<0.01
いずれも利用なし	2	2.4%	4	5.4%	7	14.6%	13	6.4%	0.02

【付表 13b：選べる!! STI 検査 1000 円キャンペーン 受検者アンケート結果】
受検経験別分析(2)

	受検経験						合計(N204)		
	定期受検(n82)		不定期受検(n74)		初受検(n48)				
コミュニティセンターdista（ディスタ）を知っていますか？									
知らない	20	24.4%	23	31.1%	28	58.3%	71	34.8%	<0.01
知っているが行ったことはない	33	40.2%	28	37.8%	14	29.2%	75	36.8%	
行ったことがある	29	35.4%	23	31.1%	6	12.5%	58	28.4%	
SaL+（サルポジ）を知っていますか？									
知らない	32	39.0%	39	52.7%	40	83.3%	111	54.4%	<0.01
知っているが読んだことはない	5	6.1%	4	5.4%	2	4.2%	11	5.4%	
読んだことがある	45	54.9%	31	41.9%	6	12.5%	82	40.2%	
HIVサポートライン関西・HIV陽性の人とパートナー・家族のための電話相談-を知っていますか？									
知らない	48	58.5%	57	77.0%	40	83.3%	145	71.1%	<0.01
知っている	34	41.5%	17	23.0%	8	16.7%	59	28.9%	
ひよっこクラブ-HIVポジティブとわかって間もない人のためのグループミーティング-を知っていますか？									
知らない	65	79.3%	64	86.5%	44	91.7%	173	84.8%	0.14
知っている	17	20.7%	10	13.5%	4	8.3%	31	15.2%	
HIV抗体検査に関する知識									
1)通常のHIV検査では、感染から2～3ヶ月後経過しないと感染しているかどうか分からない									
正しい	76	92.7%	68	91.9%	39	81.3%	183	89.7%	0.01
誤り	5	6.1%	1	1.4%	1	2.1%	7	3.4%	
わからない	1	1.2%	5	6.8%	8	16.7%	14	6.9%	
2)HIV即日検査や郵送検査キットでは、感染していなくても陽性（感染している）と結果が出ることもある									
正しい	67	81.7%	59	79.7%	25	52.1%	151	74.0%	<0.01
誤り	5	6.1%	2	2.7%	5	10.4%	12	5.9%	
わからない	10	12.2%	13	17.6%	18	37.5%	41	20.1%	
3)HIV即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。									
正しい	75	91.5%	67	90.5%	31	64.6%	173	84.8%	<0.01
誤り	2	2.4%	3	4.1%	3	6.3%	8	3.9%	
わからない	5	6.1%	4	5.4%	14	29.2%	23	11.3%	
友達や知り合いにHIVやエイズに感染している人はいると思いますか？									
いない/いないと思う/わからない	22	26.8%	42	56.8%	36	75.0%	100	49.0%	<0.01
いる/いると思う	60	73.2%	32	43.2%	12	25.0%	104	51.0%	
過去6ヶ月間に“HIVや性感染症に感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？									
よくあった	9	11.0%	7	9.5%	3	6.3%	19	9.3%	0.20
時々あった	31	37.8%	31	41.9%	15	31.3%	77	37.7%	
あまりなかった	29	35.4%	33	44.6%	22	45.8%	84	41.2%	
まったくなかった	13	15.9%	3	4.1%	8	16.7%	24	11.8%	
過去6ヶ月間のコンドーム使用状況									
過去6ヶ月間にしていない	10	12.2%	6	8.1%	9	18.8%	25	12.3%	0.34
常用	28	34.1%	20	27.0%	13	27.1%	61	29.9%	
非常用	44	53.7%	48	64.9%	26	54.2%	118	57.8%	

【付表 13c：選べる!! STI 検査 1000 円キャンペーン 受検者アンケート結果】
受検経験別分析(3)

		受検経験						合計(N204)		
		定期受検(n82)		不定期受検(n74)		初受検(n48)				
本キャンペーン利用経験										
ある	50	61.0%	20	27.0%	0	.0%	70	34.3%	<0.01	
ない(無回答含む)	32	39.0%	54	73.0%	48	100.0%	134	65.7%		
今回のキャンペーンをどのようにして知りましたか？										
フライヤー5月版	44	53.7%	33	44.6%	12	25.0%	89	43.6%	0.01	
フライヤー6月版	46	56.1%	40	54.1%	29	60.4%	115	56.4%	0.79	
フライヤー7月版	5	6.1%	7	9.5%	2	4.2%	14	6.9%	0.50	
フライヤー8月版	6	7.3%	5	6.8%	5	10.4%	16	7.8%	0.74	
マグネット5月版	8	9.8%	6	8.1%	4	8.3%	18	8.8%	0.93	
マグネット6月版	3	3.7%	6	8.1%	4	8.3%	13	6.4%	0.43	
マグネット7月版	1	1.2%	5	6.8%	1	2.1%	7	3.4%	0.14	
マグネット8月版	1	1.2%	2	2.7%	0	.0%	3	1.5%	0.47	

【付表 13d：選べる!! STI 検査 1000 円キャンペーン 受検者アンケート結果】
 キャンペーン利用経験別分析(1)

		本キャンペーン利用経験				合計(N204)		Pearson カイ2乗
		Repeater(n70)		初利用者(n134)				
クリニック								
	そねざき古林診療所	30	42.9%	52	38.8%	82	40.2%	0.09
	岩佐クリニック	10	14.3%	21	15.7%	31	15.2%	
	亀岡クリニック	7	10.0%	8	6.0%	15	7.4%	
	高田泌尿器科	5	7.1%	1	0.7%	6	2.9%	
	田端医院	2	2.9%	3	2.2%	5	2.5%	
	菅野クリニック	3	4.3%	6	4.5%	9	4.4%	
	中村クリニック	13	18.6%	43	32.1%	56	27.5%	
あなたが今回HIV検査(エイズ検査)を受けた月をご記入ください。								
	6月	19	27.1%	43	32.1%	62	30.4%	0.76
	7月	22	31.4%	38	28.4%	60	29.4%	
	8月	29	41.4%	53	39.6%	82	40.2%	
年齢階級								
	29歳以下	21	30.0%	55	41.0%	76	37.3%	0.30
	30-39歳	27	38.6%	43	32.1%	70	34.3%	
	40歳以上	22	31.4%	36	26.9%	58	28.4%	
居住地								
	大阪市	39	55.7%	60	44.8%	99	48.5%	0.28
	大阪市を除く大阪府	17	24.3%	36	26.9%	53	26.0%	
	他府県	14	20.0%	38	28.4%	52	25.5%	
あなたは次のどれにあてはまりますか？								
	ゲイ	61	87.1%	101	75.4%	162	79.4%	0.12
	バイセクシュアル	9	12.9%	31	23.1%	40	19.6%	
	その他	0	0.0%	2	1.5%	2	1.0%	
健康保険加入状況								
	国民健康保険	24	34.3%	49	36.6%	73	35.8%	0.98
	職場の健康保険	36	51.4%	66	49.3%	102	50.0%	
	被扶養者の健康保険	8	11.4%	16	11.9%	24	11.8%	
	持っていない(無回答含む)	2	2.9%	3	2.2%	5	2.5%	
過去6ヶ月間に下記の施設を利用したことがありますか？								
	ゲイバー	42	60.0%	63	47.0%	105	51.5%	0.08
	ゲイナイト	20	28.6%	26	19.4%	46	22.5%	0.14
	ゲイショップ	24	34.3%	36	26.9%	60	29.4%	0.27
	有料ハッテン場	39	55.7%	71	53.0%	110	53.9%	0.71
	野外のハッテン場	11	15.7%	11	8.2%	22	10.8%	0.10
	ハッテン場で有名な公共施設	19	27.1%	29	21.6%	48	23.5%	0.38
	PC出会い系	29	41.4%	45	33.6%	74	36.3%	0.27
	携帯出会い系	37	52.9%	52	38.8%	89	43.6%	0.05
	エロ系SNS	18	25.7%	16	11.9%	34	16.7%	0.01
	ゲイ向けアプリ	42	60.0%	60	44.8%	102	50.0%	0.04
	いずれも利用なし	0	0.0%	13	9.7%	13	6.4%	0.01
過去6ヶ月間のコンドーム使用状況								
	過去6ヶ月間にしていない	5	7.1%	20	14.9%	25	12.3%	0.18
	常用	25	35.7%	36	26.9%	61	29.9%	
	非常用	40	57.1%	78	58.2%	118	57.8%	

【付表 13e：選べる!! STI 検査 1000 円キャンペーン 受検者アンケート結果】
キャンペーン利用経験別分析(2)

	本キャンペーン利用経験				合計(N204)		Pearson カイ2乗
	Repeater(n70)		初利用者(n134)				
コミュニティセンターdista（ディスタ）を知っていますか？							
知らない	13	18.6%	58	43.3%	71	34.8%	<0.01
知っているが行ったことはない	32	45.7%	43	32.1%	75	36.8%	
行ったことがある	25	35.7%	33	24.6%	58	28.4%	
SaL+（サルポジ）を知っていますか？							
知らない	22	31.4%	89	66.4%	111	54.4%	<0.01
知っているが読んだことはない	6	8.6%	5	3.7%	11	5.4%	
読んだことがある	42	60.0%	40	29.9%	82	40.2%	
HIVサポートライン関西-HIV陽性の人とパートナー・家族のための電話相談-を知っていますか？							
知らない	41	58.6%	104	77.6%	145	71.1%	<0.01
知っている	29	41.4%	30	22.4%	59	28.9%	
ひよっこクラブ-HIVポジティブとわかって間もない人のためのグループミーティング-を知っていますか？							
知らない	52	74.3%	121	90.3%	173	84.8%	<0.01
知っている	18	25.7%	13	9.7%	31	15.2%	
HIV抗体検査に関する知識							
1)通常のHIV検査では、感染から2～3ヶ月後経過しないと感染しているかどうか分からない							
正しい	66	94.3%	117	87.3%	183	89.7%	0.24
誤り	2	2.9%	5	3.7%	7	3.4%	
わからない	2	2.9%	12	9.0%	14	6.9%	
2)HIV即日検査や郵送検査キットでは、感染していなくても陽性（感染している）と結果が出ることもある							
正しい	61	87.1%	90	67.2%	151	74.0%	0.01
誤り	1	1.4%	11	8.2%	12	5.9%	
わからない	8	11.4%	33	24.6%	41	20.1%	
3)HIV即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある							
正しい	63	90.0%	110	82.1%	173	84.8%	0.26
誤り	1	1.4%	7	5.2%	8	3.9%	
わからない	6	8.6%	17	12.7%	23	11.3%	
友達や知り合いにHIVやエイズに感染している人はいると思いますか？							
いない/いないと思う/わからない	25	35.7%	75	56.0%	100	49.0%	0.01
いる/いると思う	45	64.3%	59	44.0%	104	51.0%	
過去6ヶ月間に“HIVや性感染症に感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？							
よくあった	10	14.3%	9	6.7%	19	9.3%	0.24
時々あった	27	38.6%	50	37.3%	77	37.7%	
あまりなかった	24	34.3%	60	44.8%	84	41.2%	
まったくなかった	9	12.9%	15	11.2%	24	11.8%	
今回のキャンペーンをどのようにして知りましたか？							
フライヤー5月版	38	54.3%	51	38.1%	89	43.6%	0.03
フライヤー6月版	41	58.6%	74	55.2%	115	56.4%	
フライヤー7月版	4	5.7%	10	7.5%	14	6.9%	
フライヤー8月版	7	10.0%	9	6.7%	16	7.8%	
マグネット5月版	6	8.6%	12	9.0%	18	8.8%	
マグネット6月版	3	4.3%	10	7.5%	13	6.4%	
マグネット7月版	2	2.9%	5	3.7%	7	3.4%	
マグネット8月版	0	0.0%	3	2.2%	3	1.5%	
フライヤー							
見ていない	7	10.0%	17	12.7%	24	11.8%	0.57
1つ以上見た	63	90.0%	117	87.3%	180	88.2%	
マグネット							
見ていない	62	88.6%	109	81.3%	171	83.8%	0.18
1つ以上見た	8	11.4%	25	18.7%	33	16.2%	

【付表 14: 選べる STI 検査 1,000 円キャンペーン ハッテン場へのマグネット配布実績】

		施設A(堂山)	施設B(堂山)	施設C(新世界)	施設D(新世界)	合計
マグネット1 (イラスト 龍谷尚樹) 掲載期間 5月16日～ 6月14日	配布枚数	700	500	500	300	2000
	掲載数	700	259	300	300	1554
	回収数	492	214	156	270	1127
	持って帰 られた数	208	45	144	30	427

		施設A(堂山)	施設B(堂山)	施設C(新世界)	施設D(新世界)	合計
マグネット2 (イラスト morio) 掲載期間 6月15日～ 7月13日	配布枚数	700	500	500	0	1700
	掲載数	700	248	500	0	1448
	回収数	497	244	320	0	1061
	持って帰 られた数	203	4	180	0	387

		施設A(堂山)	施設B(堂山)	施設C(新世界)	施設D(新世界)	合計
マグネット3 (イラスト 有田匡) 掲載期間 7月14日～ 8月9日	配布枚数	700	500	300	0	1500
	掲載数	700	300	300	0	1300
	回収数	489	276	50	0	815
	持って帰 られた数	211	24	250	0	485

		施設A(堂山)	施設B(堂山)	施設C(新世界)	施設D(新世界)	合計
マグネット4 (イラスト TORU) 掲載期間 8月9日 ～ 8月31日	配布枚数	400	300	300	0	1000
	掲載数	400	284	248	0	932
	回収数	327	221	128	0	676
	持って帰 られた数	73	63	120	0	256

		施設D(新世界)			
特殊資材 (イラスト TORU) 掲載期間 7月14日 ～ 8月31日	配布枚数	864			内訳 144×6
	掲載数	144セット			内訳 144セット
	回収数	709			
	持って帰 られた数	155			

【付表 15a: HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査の概要(大阪府)】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
参加施設数	17	17	17	18	
検査件数					
男性	1333	1311	1211	2210	6065
女性	809	681	696	1115	3301
その他	2	7	1	3	13
計(A)	2144	1999	1908	3328	9379
陽性判明数					
男性	4	11	2	12	29
女性	1	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0
計(B)	5	11	2	13	31
陽性判明率					
男性	0.30%	0.84%	0.17%	0.54%	0.48%
女性	0.12%	0.00%	0.00%	0.09%	0.06%
その他	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
計(B/A)	0.23%	0.55%	0.10%	0.39%	0.33%
回収数(C)	1539	1218	1346	2661	6764
回収率(C/A)	71.8%	60.9%	70.5%	80.0%	72.1%
初受検割合	53.8%	56.1%	55.1%	50.2%	53.8%
24歳以下割合	24.2%	23.0%	22.9%	22.0%	23.0%
MSM ^{*1} 割合	10.7%	11.0%	10.0%	13.7%	11.4%
性風俗利用者 ^{*2} 割合	25.1%	27.5%	29.0%	30.7%	28.1%
性風俗従事者 ^{*3} 割合	5.3%	4.6%	5.3%	5.8%	5.3%

*該当期間に得られた回答すべてを母数として割合を算出した。

*1 Men who have sex with men;生涯に男性との性交経験を有する男性

*2 過去6ヶ月間にお金を払った性交経験を有する人

*3 過去6ヶ月間にお金をもらった性交経験を有する人

【付表 15b: HIV 抗体検査受検者の受検経験別性別および性的指向別の基本集計(1)
2012 年 1 月～9 月に受検したものを対象とした分析結果】

	初受検者								再受検者								MSMにおける 受検経験別			
	性別および性的指向								性別および性的指向								Pearson χ^2 p値	Pearson χ^2 p値		
	MSM以外の男性 n=1155		女性 n=813		MSM n=122		合計 n=2090		MSM以外の男性 n=714		女性 n=470		MSM n=252		合計 n=1436					
居住地																				
	大阪府	1020	88.3%	735	90.4%	107	87.7%	1862	89.1%	0.30	624	87.4%	433	92.1%	220	87.3%	1277	88.9%	0.03	0.91
	大阪府以外	135	11.7%	78	9.6%	15	12.3%	228	10.9%		90	12.6%	37	7.9%	32	12.7%	159	11.1%		
年齢																				
	19歳以下	31	2.7%	71	8.7%	14	11.5%	116	5.6%	<0.01	3	0.4%	11	2.3%	8	3.2%	22	1.5%	<0.01	<0.01
	20-29歳	461	39.9%	480	59.0%	57	46.7%	998	47.8%		148	20.7%	236	50.2%	87	34.5%	471	32.8%		
	30-39歳	382	33.1%	165	20.3%	34	27.9%	581	27.8%		278	38.9%	138	29.4%	90	35.7%	506	35.2%		
	40-49歳	155	13.4%	68	8.4%	6	4.9%	229	11.0%		159	22.3%	59	12.6%	43	17.1%	261	18.2%		
	50-59歳	63	5.5%	19	2.3%	6	4.9%	88	4.2%		63	8.8%	22	4.7%	18	7.1%	103	7.2%		
	60歳以上	63	5.5%	10	1.2%	5	4.1%	78	3.7%		63	8.8%	4	0.9%	6	2.4%	73	5.1%		
居住形態																				
	同居	823	71.3%	596	73.3%	74	60.7%	1493	71.4%	0.02	516	72.3%	351	74.7%	141	56.0%	1008	70.2%	<0.01	0.39
	独居	332	28.7%	217	26.7%	48	39.3%	597	28.6%		198	27.7%	119	25.3%	111	44.0%	428	29.8%		
婚姻状況																				
	未婚	737	63.8%	662	81.4%	103	84.4%	1502	71.9%	<0.01	389	54.5%	328	69.8%	231	91.7%	948	66.0%	<0.01	0.03
	既婚	418	36.2%	151	18.6%	19	15.6%	588	28.1%		325	45.5%	142	30.2%	21	8.3%	488	34.0%		
健康保険加入状況																				
	国民健康保険/職場の健康保険	1002	86.8%	545	67.0%	94	77.0%	1641	78.5%	<0.01	655	91.7%	302	64.3%	208	82.5%	1165	81.1%	<0.01	0.22
	被扶養者の健康保険	114	9.9%	216	26.6%	16	13.1%	346	16.6%		33	4.6%	135	28.7%	31	12.3%	199	13.9%		
	未加入/無回答	39	3.4%	52	6.4%	12	9.8%	103	4.9%		26	3.6%	33	7.0%	13	5.2%	72	5.0%		
生涯の性交経験																				
	ない	17	1.5%	9	1.1%	0	0.0%	26	1.2%	0.34	9	1.3%	1	0.2%	0	0.0%	10	0.7%	0.04	-
	ある	1138	98.5%	804	98.9%	122	100.0%	2064	98.8%		705	98.7%	469	99.8%	252	100.0%	1426	99.3%		
過去6ヶ月間の露性交または肛門性交経験																				
	ない	475	41.1%	318	39.1%	22	18.0%	815	39.0%	<0.01	247	34.6%	146	31.1%	51	20.2%	444	30.9%	<0.01	0.68
	ある	680	58.9%	495	60.9%	100	82.0%	1275	61.0%		467	65.4%	324	68.9%	201	79.8%	992	69.1%		
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？																				
	ない(無回答含む)	609	52.7%	807	99.3%	94	77.0%	1510	72.2%	<0.01	344	48.2%	468	99.6%	210	83.3%	1022	71.2%	<0.01	0.14
	ある	546	47.3%	6	0.7%	28	23.0%	580	27.8%		370	51.8%	2	0.4%	42	16.7%	414	28.8%		
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？																				
	ない(無回答含む)	1150	99.6%	759	93.4%	113	92.6%	2022	96.7%	<0.01	702	98.3%	408	86.8%	224	88.9%	1334	92.9%	<0.01	0.26
	ある	5	0.4%	54	6.6%	9	7.4%	68	3.3%		12	1.7%	62	13.2%	28	11.1%	102	7.1%		
男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況																				
	過去6ヶ月間に行わない	1155	100.0%	326	40.1%	32	26.2%	1513	72.4%	<0.01	714	100.0%	150	31.9%	60	23.8%	924	64.3%	<0.01	0.85
	常用	0	0.0%	88	10.8%	25	20.5%	113	5.4%		0	0.0%	50	10.6%	56	22.2%	106	7.4%		
	非常用	0	0.0%	399	49.1%	65	53.3%	464	22.2%		0	0.0%	270	57.4%	136	54.0%	406	28.3%		
女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況																				
	過去6ヶ月間に行わない	485	42.0%	807	99.3%	85	69.7%	1377	65.9%	<0.01	258	36.1%	464	98.7%	194	77.0%	916	63.8%	<0.01	0.27
	常用	186	16.1%	0	0.0%	12	9.8%	198	9.5%		118	16.5%	2	0.4%	22	8.7%	142	9.9%		
	非常用	484	41.9%	6	0.7%	25	20.5%	515	24.6%		338	47.3%	4	0.9%	36	14.3%	378	26.3%		

*HIV抗体検査受検者のうち、属性に関して無回答であった者を除き、アンケートに初めて回答した者を分析対象とした。

【付表 15c: HIV 抗体検査受検者の受検経験別性別および性的指向別の基本集計(2)
2012 年 1 月～9 月に受検したものを対象とした分析結果】

	初受検者					再受検者					MSMにおける 受検経路別								
	性別および性的指向					Pearson χ^2 p値	性別および性的指向					Pearson χ^2 p値							
	MSM以外の男性 n=1155	女性 n=813	MSM n=122	合計 n=2090	MSM以外の男性 n=714		女性 n=470	MSM n=252	合計 n=1436										
周囲のHIV感染者の有無																			
わからない(無回答含む)	306	26.5%	213	26.2%	26	21.3%	545	26.1%	<0.01	164	23.0%	103	21.9%	31	12.3%	298	20.8%	<0.01	<0.01
いない/いないと思う	684	59.2%	461	56.7%	57	46.7%	1202	57.5%		423	59.2%	269	57.2%	75	29.8%	767	53.4%		
いる/いると思う	165	14.3%	139	17.1%	39	32.0%	343	16.4%		127	17.8%	98	20.9%	146	57.9%	371	25.8%		
「自分がHIVに感染していても今のまま働くことができる」と思いますか？																			
あまりそう思わない/そう思わない	482	41.7%	353	43.4%	53	43.4%	888	42.5%	0.74	300	42.0%	266	56.6%	96	38.1%	662	46.1%	<0.01	0.32
そう思う/ややそう思う	673	58.3%	460	56.6%	69	56.6%	1202	57.5%		414	58.0%	204	43.4%	156	61.9%	774	53.9%		
「自分はHIVに感染しても恋愛や結婚はできる」と思いますか？																			
あまりそう思わない/そう思わない	934	80.9%	642	79.0%	91	74.6%	1667	79.8%	0.20	595	83.3%	377	80.2%	175	69.4%	1147	79.9%	<0.01	0.30
そう思う/ややそう思う	221	19.1%	171	21.0%	31	25.4%	423	20.2%		119	16.7%	93	19.8%	77	30.6%	289	20.1%		
過去6ヶ月間に「HIVに感染しているかも…」と不安に感じたことはありましたか？																			
あまりなかった/全くなかった	771	66.8%	584	71.8%	77	63.1%	1432	68.5%	0.02	410	57.4%	280	59.6%	115	45.6%	805	56.1%	<0.01	0.01
よくあった/時々あった	384	33.2%	229	28.2%	45	36.9%	658	31.5%		304	42.6%	190	40.4%	137	54.4%	631	43.9%		
HIVに関する相談相手や場所の認知																			
全く知らない(無回答含む)	450	39.0%	255	31.4%	45	36.9%	750	35.9%	<0.01	255	35.7%	144	30.6%	56	22.2%	455	31.7%	<0.01	<0.01
知っている	705	61.0%	558	68.6%	77	63.1%	1340	64.1%		459	64.3%	326	69.4%	196	77.8%	981	68.3%		
受検動機(動機の有無)																			
人から勧められた、または誘われた	208	18.0%	211	26.0%	23	18.9%	442	21.1%	<0.01	55	7.7%	53	11.3%	11	4.4%	119	8.3%	<0.01	<0.01
自分で受けようと思った	947	82.0%	602	74.0%	99	81.1%	1648	78.9%		659	92.3%	417	88.7%	241	95.6%	1317	91.7%		
同伴者の有無																			
1人で来た	1002	86.8%	560	68.9%	99	81.1%	1661	79.5%	<0.01	662	92.7%	373	79.4%	233	92.5%	1268	88.3%	<0.01	<0.01
友達・その他・無回答	59	5.1%	142	17.5%	16	13.1%	217	10.4%		17	2.4%	51	10.9%	10	4.0%	78	5.4%		
家族・恋人	94	8.1%	111	13.7%	7	5.7%	212	10.1%		35	4.9%	46	9.8%	9	3.6%	90	6.3%		
広報資料認知																			
いずれも認知なし	523	45.3%	392	48.2%	48	39.3%	963	46.1%	0.13	318	44.5%	235	50.0%	85	33.7%	638	44.4%	<0.01	0.29
いずれか認知あり	632	54.7%	421	51.8%	74	60.7%	1127	53.9%		396	55.5%	235	50.0%	167	66.3%	798	55.6%		
広報資料認知(複数回答)																			
各行政の紙資料・ポスター・広報誌等	59	5.1%	40	4.9%	7	5.7%	106	5.1%	0.93	86	12.0%	60	12.8%	46	18.3%	192	13.4%	0.04	<0.01
各行政のホームページ	315	27.3%	226	27.8%	34	27.9%	575	27.5%	0.96	182	25.5%	104	22.1%	57	22.6%	343	23.9%	0.36	0.27
NGO資料	10	0.9%	6	0.7%	11	9.0%	27	1.3%	<0.01	10	1.4%	2	0.4%	62	24.6%	74	5.2%	<0.01	<0.01
HIVマップ	50	4.3%	39	4.8%	8	6.6%	97	4.6%	0.52	37	5.2%	15	3.2%	33	13.1%	85	5.9%	<0.01	0.06
HIV検査・相談マップ	327	28.3%	233	28.7%	40	32.8%	600	28.7%	0.58	187	26.2%	117	24.9%	79	31.3%	383	26.7%	0.16	0.78
ACI広告(エイズ予防財団)	95	8.2%	83	10.2%	17	13.9%	195	9.3%	0.06	45	6.3%	38	8.1%	40	15.9%	123	8.6%	<0.01	0.63

*HIV抗体検査受検者のうち、属性に関して無回答であった者を除き、アンケートに初めて回答した者を分析対象とした。

【付表 16a: GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (1)】

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=186		n=106		n=86		n=61		n=52				n=491
性的指向													
ゲイ(同性愛者)	146	78.5%	83	78.3%	68	79.1%	55	90.2%	47	90.4%	399	81.3%	0.15
バイ(両性愛者)	34	18.3%	15	14.2%	14	16.3%	5	8.2%	3	5.8%	71	14.5%	
その他	6	3.2%	8	7.5%	4	4.7%	1	1.6%	2	3.8%	21	4.3%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？													
一人暮らし	71	38.2%	52	49.1%	51	59.3%	36	59.0%	23	44.2%	233	47.5%	<0.01
家族と同居	106	57.0%	37	34.9%	19	22.1%	15	24.6%	16	30.8%	193	39.3%	
家族以外と同居	9	4.8%	17	16.0%	16	18.6%	10	16.4%	13	25.0%	65	13.2%	
あなたは現在、結婚していますか？													
結婚している	0	0.0%	2	1.9%	2	2.3%	1	1.6%	1	1.9%	6	1.2%	0.43
結婚していない	186	100.0%	104	98.1%	84	97.7%	60	98.4%	51	98.1%	485	98.8%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？													
国民健康保険	57	30.6%	35	33.0%	24	27.9%	24	39.3%	18	34.6%	158	32.2%	<0.01
職場の健康保険	48	25.8%	56	52.8%	53	61.6%	35	57.4%	29	55.8%	221	45.0%	
被扶養者の健康保険	70	37.6%	11	10.4%	7	8.1%	1	1.6%	0	0.0%	89	18.1%	
持っていない	11	5.9%	4	3.8%	2	2.3%	1	1.6%	5	9.6%	23	4.7%	
次の中で過去6カ月間に利用したものはありますか？（あてはまるものすべて）													
ゲイバー	113	60.8%	61	57.5%	56	65.1%	42	68.9%	36	69.2%	308	62.7%	0.45
ゲイナイト	69	37.1%	41	38.7%	38	44.2%	22	36.1%	15	28.8%	185	37.7%	0.49
ゲイショップ	64	34.4%	33	31.1%	35	40.7%	14	23.0%	17	32.7%	163	33.2%	0.25
PC出会い系サイト	61	32.8%	24	22.6%	29	33.7%	15	24.6%	18	34.6%	147	29.9%	0.25
携帯出会い系サイト	90	48.4%	39	36.8%	35	40.7%	22	36.1%	23	44.2%	209	42.6%	0.26
mixiなどのSNS	99	53.2%	62	58.5%	49	57.0%	38	62.3%	27	51.9%	275	56.0%	0.70
エロ系SNS	44	23.7%	24	22.6%	22	25.6%	14	23.0%	13	25.0%	117	23.8%	0.99
スマートフォンのゲイ向けアプリ	115	61.8%	64	60.4%	57	66.3%	37	60.7%	19	36.5%	292	59.5%	0.01
ゲイ向けサークル	23	12.4%	15	14.2%	13	15.1%	5	8.2%	7	13.5%	63	12.8%	0.77
ゲイ向け合コン	12	6.5%	8	7.5%	6	7.0%	2	3.3%	0	0.0%	28	5.7%	0.29
ゲイの乱パ	1	0.5%	1	0.9%	1	1.2%	1	1.6%	0	0.0%	4	0.8%	0.87
有料のハッテン場	57	30.6%	33	31.1%	23	26.7%	20	32.8%	18	34.6%	151	30.8%	0.89
野外のハッテン場	3	1.6%	5	4.7%	2	2.3%	5	8.2%	6	11.5%	21	4.3%	0.01
ハッテン場で有名な公共施設	17	9.1%	14	13.2%	17	19.8%	6	9.8%	9	17.3%	63	12.8%	0.12
いずれも利用なし	8	4.3%	4	3.8%	3	3.5%	0	0.0%	2	3.8%	17	3.5%	0.62

【付表 16b: GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (2)】

	年齢										合計		Pearson χ^2
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=186		n=106		n=86		n=61		n=52		n=491		
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？													
ある	135	72.6%	88	83.0%	69	80.2%	51	83.6%	49	94.2%	392	79.8%	0.01
ない	51	27.4%	18	17.0%	17	19.8%	10	16.4%	3	5.8%	99	20.2%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	91	48.9%	63	59.4%	58	67.4%	40	65.6%	41	78.8%	293	59.7%	<0.01
ない	95	51.1%	43	40.6%	28	32.6%	21	34.4%	11	21.2%	198	40.3%	
これまでにHIV抗体検査を受けた場所はどこですか？（あてはまるものすべて）													
保健所の通常検査	48	25.8%	30	28.3%	29	33.7%	20	32.8%	23	44.2%	150	30.5%	0.12
保健所の即日検査	29	15.6%	16	15.1%	13	15.1%	6	9.8%	6	11.5%	70	14.3%	0.80
保健所の夜間検査	6	3.2%	3	2.8%	7	8.1%	5	8.2%	6	11.5%	27	5.5%	0.06
医療センターなどの病院	7	3.8%	12	11.3%	16	18.6%	8	13.1%	10	19.2%	53	10.8%	<0.01
クリニック・医院・診療所	21	11.3%	14	13.2%	18	20.9%	9	14.8%	10	19.2%	72	14.7%	0.25
郵送検査キット	5	2.7%	6	5.7%	2	2.3%	3	4.9%	2	3.8%	18	3.7%	0.66
その他	11	5.9%	6	5.7%	7	8.1%	6	9.8%	5	9.6%	35	7.1%	0.73
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	68	36.6%	40	37.7%	34	39.5%	16	26.2%	20	38.5%	178	36.3%	<0.01
ない	19	10.2%	17	16.0%	19	22.1%	20	32.8%	18	34.6%	93	18.9%	
1年以上前に陽性を確認	3	1.6%	6	5.7%	5	5.8%	4	6.6%	3	5.8%	21	4.3%	
答えたくない	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	
生涯なし	95	51.1%	43	40.6%	28	32.6%	21	34.4%	11	21.2%	198	40.3%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けた場所はどこですか？（あてはまるものすべて）													
保健所の通常検査	33	17.7%	17	16.0%	13	15.1%	3	4.9%	11	21.2%	77	15.7%	0.13
保健所の即日検査	17	9.1%	10	9.4%	3	3.5%	2	3.3%	2	3.8%	34	6.9%	0.20
保健所の夜間検査	3	1.6%	1	0.9%	2	2.3%	4	6.6%	0	0.0%	10	2.0%	0.09
医療センターなどの病院	4	2.2%	6	5.7%	5	5.8%	4	6.6%	4	7.7%	23	4.7%	0.32
クリニック・医院・診療所	14	7.5%	9	8.5%	12	14.0%	1	1.6%	4	7.7%	40	8.1%	0.11
郵送検査キット	3	1.6%	4	3.8%	2	2.3%	3	4.9%	0	0.0%	12	2.4%	0.38
その他	4	2.2%	0	0.0%	1	1.2%	2	3.3%	1	1.9%	8	1.6%	0.52
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？													
いる	32	17.2%	30	28.3%	30	34.9%	30	49.2%	28	53.8%	150	30.5%	<0.01
いると思う	36	19.4%	19	17.9%	20	23.3%	14	23.0%	11	21.2%	100	20.4%	
いないと思う	41	22.0%	22	20.8%	19	22.1%	9	14.8%	0	0.0%	91	18.5%	
いない	25	13.4%	11	10.4%	1	1.2%	0	0.0%	2	3.8%	39	7.9%	
わからない	52	28.0%	24	22.6%	16	18.6%	8	13.1%	11	21.2%	111	22.6%	

【付表 16c: GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (3)】

	年齢										合計 n=491	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=186		25-29歳 n=106		30-34歳 n=86		35-39歳 n=61		40歳以上 n=52				
過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	60	32.3%	34	32.1%	24	27.9%	20	32.8%	19	36.5%	157	32.0%	0.34
ない	63	33.9%	34	32.1%	41	47.7%	25	41.0%	21	40.4%	184	37.5%	
彼氏・恋人がいなかった	63	33.9%	38	35.8%	21	24.4%	16	26.2%	12	23.1%	150	30.5%	
過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	113	60.8%	64	60.4%	46	53.5%	32	52.5%	32	61.5%	287	58.5%	0.64
ない	73	39.2%	42	39.6%	40	46.5%	29	47.5%	20	38.5%	204	41.5%	
次の中で、これまでににかかったことがある性感染症はありますか？（あてはまるものすべて）													
梅毒	5	2.7%	4	3.8%	9	10.5%	7	11.5%	13	25.0%	38	7.7%	<0.01
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	2	3.3%	2	3.8%	5	1.0%	0.04
B型肝炎	8	4.3%	7	6.6%	11	12.8%	3	4.9%	4	7.7%	33	6.7%	0.13
C型肝炎	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	2	3.3%	0	0.0%	3	0.6%	0.05
クラミジア	5	2.7%	10	9.4%	9	10.5%	9	14.8%	6	11.5%	39	7.9%	0.01
尖圭コンジローマ	3	1.6%	6	5.7%	3	3.5%	2	3.3%	8	15.4%	22	4.5%	<0.01
淋病	2	1.1%	4	3.8%	10	11.6%	9	14.8%	8	15.4%	33	6.7%	<0.01
HIV感染症	5	2.7%	7	6.6%	6	7.0%	6	9.8%	5	9.6%	29	5.9%	0.15
赤痢アメーバ	1	0.5%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.6%	0	0.0%	3	0.6%	0.65
毛じらみ	15	8.1%	27	25.5%	29	33.7%	29	47.5%	31	59.6%	131	26.7%	<0.01
性器ヘルペス	2	1.1%	0	0.0%	2	2.3%	2	3.3%	1	1.9%	7	1.4%	0.44
その他	1	0.5%	2	1.9%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.9%	5	1.0%	0.60
いずれもなし	153	82.3%	61	57.5%	41	47.7%	20	32.8%	8	15.4%	283	57.6%	<0.01
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	171	91.9%	100	94.3%	84	97.7%	61	100.0%	52	100.0%	468	95.3%	0.02
ない	15	8.1%	6	5.7%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	23	4.7%	
過去6ヵ月間に、コンドームを買ったことがありますか？													
ある	74	39.8%	41	38.7%	32	37.2%	27	44.3%	23	44.2%	197	40.1%	0.88
ない	112	60.2%	65	61.3%	54	62.8%	34	55.7%	29	55.8%	294	59.9%	
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？													
いつも持っていた	66	35.5%	38	35.8%	34	39.5%	23	37.7%	29	55.8%	190	38.7%	0.05
時々持っていた	48	25.8%	33	31.1%	23	26.7%	22	36.1%	16	30.8%	142	28.9%	
持っていなかった	72	38.7%	35	33.0%	29	33.7%	16	26.2%	7	13.5%	159	32.4%	
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？													
口内射精したことがある	45	24.2%	21	19.8%	21	24.4%	16	26.2%	15	28.8%	118	24.0%	0.14
口内射精されたことがある	36	19.4%	17	16.0%	10	11.6%	8	13.1%	7	13.5%	78	15.9%	
どちらもある	41	22.0%	22	20.8%	19	22.1%	4	6.6%	6	11.5%	92	18.7%	
どちらもない	64	34.4%	46	43.4%	36	41.9%	33	54.1%	24	46.2%	203	41.3%	
過去6ヶ月間の薬物併用経験													
いずれもなし	167	89.8%	87	82.1%	66	76.7%	44	72.1%	33	63.5%	397	80.9%	<0.01
バイアグラのみ	3	1.6%	4	3.8%	5	5.8%	6	9.8%	7	13.5%	25	5.1%	
併用経験あり	16	8.6%	15	14.2%	15	17.4%	11	18.0%	12	23.1%	69	14.1%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？													
ある	149	80.1%	93	87.7%	78	90.7%	58	95.1%	51	98.1%	429	87.4%	<0.01
ない	37	19.9%	13	12.3%	8	9.3%	3	4.9%	1	1.9%	62	12.6%	

【付表 16d: GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (4)】

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=149	n=93	n=78	n=58	n=51	n=429							
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？													
現在から過去6か月間の間	128	85.9%	79	84.9%	53	67.9%	44	75.9%	34	66.7%	338	78.8%	<0.01
過去6か月間から過去1年間の間	7	4.7%	6	6.5%	7	9.0%	1	1.7%	1	2.0%	22	5.1%	
1年以上前	11	7.4%	3	3.2%	17	21.8%	10	17.2%	15	29.4%	56	13.1%	
覚えていない	3	2.0%	5	5.4%	1	1.3%	3	5.2%	1	2.0%	13	3.0%	
一番最近にアナルセックスをした相手はどれにあてはまりますか？													
彼氏や恋人	49	32.9%	22	23.7%	25	32.1%	16	27.6%	14	27.5%	126	29.4%	0.61
友達やセクフレ	42	28.2%	28	30.1%	31	39.7%	18	31.0%	14	27.5%	133	31.0%	
その場限りの相手	57	38.3%	42	45.2%	22	28.2%	24	41.4%	23	45.1%	168	39.2%	
その他	1	0.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	
そのときの相手とアナルセックスをしたときに、コンドームを使いましたか？													
使用	111	74.5%	60	64.5%	58	74.4%	44	75.9%	32	62.7%	305	71.1%	0.37
不使用	35	23.5%	28	30.1%	16	20.5%	12	20.7%	18	35.3%	109	25.4%	
覚えていない	3	2.0%	5	5.4%	4	5.1%	2	3.4%	1	2.0%	15	3.5%	
そのときコンドームやローションは手の届く所にありましたか？													
両方あった	117	78.5%	71	76.3%	64	82.1%	50	86.2%	40	78.4%	342	79.7%	0.55
コンドームだけあった	5	3.4%	1	1.1%	1	1.3%	1	1.7%	1	2.0%	9	2.1%	
ローションだけあった	19	12.8%	17	18.3%	7	9.0%	5	8.6%	6	11.8%	54	12.6%	
両方なかった	1	0.7%	3	3.2%	2	2.6%	2	3.4%	1	2.0%	9	2.1%	
わからない/覚えていない	7	4.7%	1	1.1%	4	5.1%	0	0.0%	3	5.9%	15	3.5%	
そのときの相手と、初めて知り合ったのはどこですか？													
ゲイバー	8	5.4%	5	5.4%	7	9.0%	10	17.2%	11	21.6%	41	9.6%	<0.01
ゲイナイト	5	3.4%	2	2.2%	1	1.3%	0	0.0%	1	2.0%	9	2.1%	
ゲイショップ	0	0.0%	1	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	
PC出会い系	20	13.4%	7	7.5%	14	17.9%	6	10.3%	3	5.9%	50	11.7%	
携帯出会い系	33	22.1%	17	18.3%	10	12.8%	12	20.7%	8	15.7%	80	18.6%	
mixiなどのSNS	13	8.7%	8	8.6%	5	6.4%	3	5.2%	0	0.0%	29	6.8%	
エロ系SNS	6	4.0%	4	4.3%	4	5.1%	1	1.7%	0	0.0%	15	3.5%	
スマートフォンのゲイ向けアプリ	26	17.4%	15	16.1%	14	17.9%	10	17.2%	5	9.8%	70	16.3%	
ゲイ向けサークル	3	2.0%	3	3.2%	3	3.8%	2	3.4%	0	0.0%	11	2.6%	
ゲイ向け合コン	0	0.0%	1	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	
ゲイの乱パ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
有料ハッテン場	26	17.4%	26	28.0%	10	12.8%	11	19.0%	16	31.4%	89	20.7%	
野外ハッテン場	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.9%	4	0.9%	
ハッテン場で有名な公共施設	0	0.0%	1	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	4	7.8%	6	1.4%	
その他・覚えていない	8	5.4%	3	3.2%	7	9.0%	2	3.4%	1	2.0%	21	4.9%	
そのときセックスする前にコンドームについてどのように思っていましたか？													
使いたいと思っていた	109	73.2%	61	65.6%	58	74.4%	48	82.8%	29	56.9%	305	71.1%	0.35
使いたいと思っていなかった	9	6.0%	8	8.6%	7	9.0%	2	3.4%	7	13.7%	33	7.7%	
相手に合わせようと思っていた	26	17.4%	19	20.4%	11	14.1%	6	10.3%	13	25.5%	75	17.5%	
わからない/覚えていない	5	3.4%	5	5.4%	2	2.6%	2	3.4%	2	3.9%	16	3.7%	
過去6ヶ月間のアナルセックス経験													
過去6ヶ月間あり	128	85.9%	79	84.9%	53	67.9%	44	75.9%	34	66.7%	338	78.8%	<0.01
過去6ヶ月間なし	21	14.1%	14	15.1%	25	32.1%	14	24.1%	17	33.3%	91	21.2%	
過去6ヶ月間に次のような関係の男性とアナルセックスをしましたか？（あてはまるものすべて）													
彼氏や恋人	61	40.9%	30	32.3%	17	21.8%	18	31.0%	12	23.5%	138	32.2%	0.03
友達やセクフレ	64	43.0%	35	37.6%	25	32.1%	20	34.5%	18	35.3%	162	37.8%	
その場限りの相手	66	44.3%	44	47.3%	25	32.1%	24	41.4%	17	33.3%	176	41.0%	

【付表 16e: GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (5)】

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=128	n=79	n=53	n=44	n=34								
過去6ヶ月間のアナルセックス相手との関係													
特定相手のみ	55	43.0%	29	36.7%	27	50.9%	17	38.6%	15	44.1%	143	42.3%	0.35
特定/不特定両方	49	38.3%	25	31.6%	12	22.6%	16	36.4%	13	38.2%	115	34.0%	
不特定相手(その場限り)のみ	24	18.8%	25	31.6%	14	26.4%	11	25.0%	6	17.6%	80	23.7%	
過去6ヶ月間のポジション													
挿入のみ(タチのみ)	17	13.3%	16	20.3%	7	13.2%	14	31.8%	11	32.4%	65	19.2%	0.03
被挿入のみ(ウケのみ)	34	26.6%	13	16.5%	8	15.1%	9	20.5%	7	20.6%	71	21.0%	
両方(タチ・ウケ)	77	60.2%	50	63.3%	38	71.7%	21	47.7%	16	47.1%	202	59.8%	
コンドーム使用状況													
非常用	72	56.3%	50	63.3%	25	47.2%	19	43.2%	25	73.5%	191	56.5%	0.03
常用	56	43.8%	29	36.7%	28	52.8%	25	56.8%	9	26.5%	147	43.5%	

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	38	62.3%	22	73.3%	10	58.8%	5	27.8%	9	75.0%	84	60.9%	0.02
常用	23	37.7%	8	26.7%	7	41.2%	13	72.2%	3	25.0%	54	39.1%	
合計	61	100.0%	30	100.0%	17	100.0%	18	100.0%	12	100.0%	138	100.0%	
友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況													
非常用	34	53.1%	22	62.9%	10	40.0%	8	40.0%	8	44.4%	82	50.6%	0.34
常用	30	46.9%	13	37.1%	15	60.0%	12	60.0%	10	55.6%	80	49.4%	
合計	64	100.0%	35	100.0%	25	100.0%	20	100.0%	18	100.0%	162	100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	32	48.5%	23	52.3%	10	40.0%	12	50.0%	12	70.6%	89	50.6%	0.40
常用	34	51.5%	21	47.7%	15	60.0%	12	50.0%	5	29.4%	87	49.4%	
合計	66	100.0%	44	100.0%	25	100.0%	24	100.0%	17	100.0%	176	100.0%	

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=186	n=106	n=86	n=61	n=52								
大阪のコミュニティセンターdista(ディスタ)に行ったことがありますか？													
行ったことがある	62	33.3%	42	39.6%	37	43.0%	23	37.7%	17	32.7%	181	36.9%	<0.01
知っているが行ったことない	33	17.7%	26	24.5%	24	27.9%	20	32.8%	22	42.3%	125	25.5%	
知らない	91	48.9%	38	35.8%	25	29.1%	18	29.5%	13	25.0%	185	37.7%	
MASH大阪が配布しているコミュニティペーパーSaL+を読んだことがありますか？													
読んだことがある	89	47.8%	74	69.8%	68	79.1%	47	77.0%	43	82.7%	321	65.4%	<0.01
知っているが読んだことない	11	5.9%	7	6.6%	2	2.3%	5	8.2%	3	5.8%	28	5.7%	
知らない	86	46.2%	25	23.6%	16	18.6%	9	14.8%	6	11.5%	142	28.9%	
あなたはMASH大阪が実施している選べる!!1000円キャンペーンを知っていますか？													
利用した	9	4.8%	12	11.3%	10	11.6%	3	4.9%	3	5.8%	37	7.5%	<0.01
知っているが利用したことはない	42	22.6%	40	37.7%	30	34.9%	33	54.1%	20	38.5%	165	33.6%	
知らない	135	72.6%	54	50.9%	46	53.5%	25	41.0%	29	55.8%	289	58.9%	
あなたは「HIVサポートライン関西-HIV陽性の人とパートナー・家族のための電話相談-」を知っていますか？													
知っている	23	12.4%	23	21.7%	23	26.7%	12	19.7%	15	28.8%	96	19.6%	0.02
知らない	163	87.6%	83	78.3%	63	73.3%	49	80.3%	37	71.2%	395	80.4%	
あなたは「ひよっこクラブ-HIVポジティブとわかって間もない人のためのグループミーティング-」を知っていますか？													
知っている	18	9.7%	16	15.1%	19	22.1%	7	11.5%	13	25.0%	73	14.9%	0.02
知らない	168	90.3%	90	84.9%	67	77.9%	54	88.5%	39	75.0%	418	85.1%	